



クラブ現況及び活動計画書

よいことの
ために
手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

2025



国際ロータリー第2720地区
熊本東南ロータリークラブ

ロータリーの目的 The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

目 次

R I 会 長 メ ッ セ ー ジ	1
ガ バ ナ ー メ ッ セ ー ジ	4
ガ バ ナ ー 公 式 訪 問 次 第	07
ク ラ ブ 運 営 方 針	08
役 員、理 事、委 員 会 名 簿	09
ク ラ ブ の 概 況	10
会 員 名 簿	11
熊本東南ローターアクトクラブの概況	12
ク ラ ブ の 歩 み	13
委 員 会 活 動 計 画	31
クラブ管理運営委員会	31
親睦・受付・スマイル	31
出席・プログラム	32
年間卓話プログラム計画表	33
会 報 ・ 雑 誌	34
ロータリー情報	34
会 員 増 強 委 員 会	35
会 員 増 強	35
公 共 イ メ ー ジ 委 員 会	35
ロータリー財団委員会	36
奉仕プロジェクト委員会	36
職 業 奉 仕	36
社 会 奉 仕	36
青 少 年 奉 仕	37
国際奉仕・米山奨学会	37
姉妹クラブ・交換学生	37
長 期 戦 略 委 員 会	38
S . A . A .	38
会 計	38
年 間 行 事 計 画 書	39
貸 借 対 照 表	40
前 年 度 収 支 計 算 書	41
監 査 報 告 書	46
R財団・米山奨学会・熊本R奨学会寄付	47
熊本東南RAC収支決算書・予算書	52
2023～2024年度収支予算書	54
例 会 出 席 率 表	59
会 員 出 席 率 表	60
歴代役員・理事・委員長一覧表	61
入 会 ・ 退 会 者 一 覧	65
姉 妹 ク ラ ブ 訪 問 一 覧	66
ロータリーの標語・使命	69
職 業 分 類 一 覧 表	
職業分類の概況	1
関連部門別会員一覧表	2
職業分類一覧表	3
定 款、細 則、慶 弔 規 定	

国際ロータリー会長メッセージ



UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

フランчесコ・アレツツォ
Italy Ragusa ロータリークラブ
イタリア、ラゲーザ

2025-2026 年度 国際ロータリー会長

親愛なる友人の皆さま

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行きの飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てみましょう：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョン

を持って計画、行動すれば、末長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

国際ロータリー会長プロフィール



2025-26 年度 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

Italy Ragusa ロータリークラブ

イタリア、ラグーザ

矯正歯科の開業医で、シチリア島でエキストラバージンオリーブオイルを生産する農業企業を所有。

パドヴァ大学卒業。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーであり、イタリアとヨーロッパの舌矯正歯科協会のメンバーでもある。カリアリ大学歯学部で舌矯正歯科の修士号も取得。

ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長を務め、National Trust for Italy 創設者として同団体で 7 年間ラグーザ県を代表。

シチリア島モンティ・イブレイ地域での農業企業の所有に加え、この地域ので良質な石油生産を管理・規制するコンソーシアムの管理評議会の副会長を務める。同地域に二つのブティックホテルを所有。趣味は現代美術鑑賞とオペラ。

36 年来のロータリー会員であり、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、2023 年メルボルン国際大会委員長、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理などを歴任。

パートナーで、観光業界の起業家であるアナ・マリア・アレツォ・クリシオーネさんとの間に二人の娘さんと二人のお孫さんがいる。娘のラファエラさんはロータリー青少年交換で米国フロリダ州に 1 年留学。妻アナ・マリアさんと共にロータリー財団のベネファクターとメジャードナーとなっている。

2025-2026 度ガバナーメッセージ



2025 - 2026 年度ガバナー 藤田 千克由

フランチェスコ・アレツォ RI 会長メッセージと方針
「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」

藤田 千克由 RI2720 地区ガバナーメッセージと方針

「みんなでつなぐ、育てる、ロータリー・リレーションシップ」

団結と協力を通じ、ロータリーと地域社会の発展を目指します。

つなげる・つながることでの共感がクラブと地区、そして会員ひとり一人の成長を促すことを信じて！

次年度地区活動方針・活動計画

本年度の重点活動は、地域社会との連携を強化し、「つなぐ」ことでメンバー同士の関係を深めて協力的な精神を育み、「育てる」ことで会員や若者のリーダーシップを育成し、持続可能な発展を目指すことを目的としています。

1. コミュニケーションの機会を増やして、心と心をつなごう

前年度中にガバナー補佐を交えて全クラブの会長幹事と懇談会（通称：居酒屋ミーティング）を行い、お互いを知り、クラブの特色や課題の共有を行いました。その時に上がった課題を次にガバナー公式訪問ならびに会長幹事懇談会に繋げ、グループディスカッション形式の会長幹事懇談会においてみんなで解決方法を探ることにより、クラブ同士の連携と友情を深めたいと考えています。さらに年度末にはその成果の確認と表彰に繋がります。

2. 地域社会との連携から生まれる可能性を探り、実現しよう

ロータリーキッズプログラム（こども屋台選手権）や RCC の立ち上げに取り組むことで、参加者の基盤を拡げるよう、試みます。

また、全国 RYLA 研究会を主催することで RYLA の今後の可能性を探り、RYLA による公共イメージのアップが参加者の基盤拡大につながるシステムを構築します。

地域活動の一環としてポリオプラスの活動の継続を行い、ロータリーの公共イメージ向上に努めます。

3. 心をつなぐこと、連携することを通じて仲間を増やそう

キッズプログラムや RCC の成果が会員増強につながるように工夫するほか、メディアを利用することにより公共イメージの向上をはかり、会員増強につなげます。

4. 地区のガバナンスと組織進化への取り組み

パストガバナーに各部門のアドバイザーになっていただき、各部門のさらなるスキルアップをはかります。

出前セミナーを通じて各クラブが RI の情報を入手し、各クラブの課題解決を試みます。各クラブは必ず年 1 回は出前セミナーを依頼して下さい。また、各クラブが出前セミナーを行う際にガバナー補佐にできるだけクラブ訪問を行ってもらい、成果を見届けてもらうことをシステム化します。

全地区委員が出前セミナーを行えるようにトレーニングすることで、やりがいや責任を感じてもらいます。また、すべてのクラブから地区委員が出向することで、地区とクラブのつながりの強化をはかります。

5. 努力を成果につなげよう

各クラブの取り組みの結果を可視化して共有し、地区大会での表彰（会長・ガバナー補佐・部門長のライン表彰）につなげます

そしてまたさらに次年度計画の策定と普及につなげていきます。

ガバナーメッセージ

つながることでの効果・効能

1) 人と人がつながる

ロータリー活動を通じて人と人がつながることで、さまざまな素晴らしいものが生まれます。

1. 信頼と友情：共通の目的や価値観を共有する中で、深い信頼と生涯続く友情が育まれます。
 2. コミュニティの改善：一緒にプロジェクトを進めることで、地域社会や世界規模の問題解決に貢献する成果を生み出します。
 3. 視野の拡大：異なる背景を持つ人々と交流することで、考え方が広がり、文化や価値観への理解が深まります。
 4. 自己成長：他者と協力し目標を達成する中で、リーダーシップや新しいスキルを身につけることができます。
 5. インスピレーション：他のメンバーの経験や活動から新しいアイデアや刺激を受けることができます。
- 人と人がつながる力が、ロータリー活動の核であり、それによって多くの良い変化を生み出します。

2) ロータリークラブが他団体や人とつながる

ロータリー活動を通じて他団体や人とつながることで、多様な視点や協力による素晴らしい成果が生まれます。

1. 共同プロジェクトの成功：異なる団体や人々と協力することで、より大規模で効果的なプロジェクトを実現できます。例えば、教育支援や医療支援など、複雑な課題に対処する際に幅広いリソースを活用できます。
2. ネットワークの拡大：他団体や個人と交流することで、新たなつながりやパートナーシップが形成され、活動範囲が広がります。
3. イノベーション：他団体や異なる背景を持つ人々との交流から、新しいアイデアや解決方法が生まれることがあります。
4. 社会的インパクトの向上：多くの人々と協力することで、より広い範囲で社会的な影響を与えることができます。
5. 信頼と理解の構築：異なる団体や文化を尊重しつつ協力することで、相互理解と信頼が深まり、長期的な関係性の基盤となります。

今年度1年間、みなさま一人ひとりがぜひたくさんのつながりを創り、クラブと自分自身の成長につなげて下さることを願っています。



国際ロータリー第2720地区
ガバナープロフィール

氏 名 藤田 千克由（ふじた ちかよし）
所属クラブ 大分中央ロータリークラブ
職業分類 タクシー業
最終学歴 大分県立森高等学校
生年月日 1962年(昭和37年)10月16日
勤務先 大分トキハタクシー（株）
勤務先役職 顧問

【公職】

2002年度 公益社団法人日本青年会議所 副会頭
2007年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 理事
2007年度 大分県PTA連合会 会長

【ロータリー歴】

2009年7月	大分中央ロータリークラブ入会
2012-2013年	地区幹事
2015-2016年	大分中央ロータリークラブ会長
2022-2023年	ガバナー補佐
2022-2023年	RI第2720地区ガバナーノミネーデジグネート
2023-2024年	RI第2720地区ガバナーノミネー
2024-2025年	RI第2720地区ガバナーエレクト

ポール・ハリス・フェロー

ガバナー公式訪問次第

日 時 _____ 令和7年10月16日
場 所 _____ 熊本ホテルキャッスル

会長・幹事懇談会 _____ 10月16日 11:00～12:00
例会(ガバナーアドレス) _____ 10月16日 12:30～13:30

クラブ協議会プログラム

日 時 _____ 令和7年7月30日 13:00～14:00
場 所 _____ 熊本ホテルキャッスル

点 鐘

歓迎のことば _____ 会 長 堤 勝也
ガバナー補佐挨拶 _____ ガバナー補佐 井上弘太郎
クラブ運営方針 _____ 会 長 堤 勝也
クラブ概況報告 _____ 幹 事 草村 安宏
委員会活動報告

クラブ管理運営委員会	委員長 彌 富 昭 皇
親睦・スマイル	担当委員 片 岡 貞 志
出席・プログラム	担当委員 渡邊 俊一郎
会報・雑誌	担当委員 松 尾 浩
ロータリー情報	担当委員 松 本 繁
会員増強委員会	委員長 福井 学
会員増強	担当委員 杉 本 整 哉
公共イメージ委員会	委員長 松 岡 泰 光
ロータリー財団委員会	委員長 武 末 直 大
奉仕プロジェクト委員会	委員長 前 田 日出夫
職業奉仕	担当委員 古 田 哲 朗
社会奉仕	" 宮 川 義 行
青少年奉仕	" 出 先 教 明
国際奉仕	" 小 畑 成 司
姉妹クラブ	" 緒 方 公 一
長期戦略委員会	委員長 内 田 信 行
S. A. A.	S. A. A 西 田 智 史
会 計	会 計 生 駒 ちあき
閉会のことば	副会長 彌 富 昭 皇

点 鐘

2025 ～ 2026 年度 クラブ運営方針

会 長 堤 勝也

本年度スローガン

～つながりを深め、未来に繋ぐロータリー～



本年度、熊本東南ロータリークラブは「つながりを深め、未来に繋ぐロータリー」を活動の柱として、クラブのさらなる成長と地域貢献を目指してまいります。特に以下の二つの点に重点を置き、具体的な取り組みを進めます。

1. 会員の増加と維持

ロータリーの力は、各会員の力に依存しています。

クラブの持続的な発展のために、新メンバーの獲得と既存メンバーの満足度向上に努めます。

若い世代や多様な職業の方々へのアプローチを強化し、新たな仲間を増やします。

例会や奉仕活動を魅力的にし、会員間の絆を深める機会を増やします。

メンター制度の導入など、入会後のフォローを充実させます。

2. 姉妹クラブとの友好と交流の深化

国際的な視野を広げて友情と理解を深めるために、姉妹クラブとの連携を活発にします。

本年度は台湾での国際大会参加や板橋南區扶輪社との姉妹クラブ締結延長調印式を行います。

また、姉妹クラブ和歌山東南 RC や宇佐 RC の周年事業に参加し交流を深化させます。

これらの活動を通じて、クラブの魅力と意義を高め、未来に誇れるロータリーを共に築いていきましょう。

一年間会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。楽しく・激しく活動する一年にしていきたいと思います。

熊本東南ロータリークラブ役員・理事・委員会名簿

(2025～2026年度)

役 員	摘 要	理 事		
会 長 堤 勝也 直 前 会 長 前田日出夫 会長エレクト 福井 学 副 会 長 彌富 照皇 幹 事 草村 安宏 会 計 生駒ちあき S A A 西田 智史	専任 奉仕プロジェクト委員会 会員増強委員会 クラブ管理運営委員会 専任 専任 専任	副幹事 松田和成 副幹事 片岡貞志 副会計 福井 学 副会計 副S A A 松元将潔 副S A A	松本 繁 松田 和成 杉本 整哉 中島 祐爾 緒方 公一 古田 哲朗 渡邊俊一郎 内田 信行 片岡 貞志	
常 任 委 員 会	委員長	担当職務(機能)	担当委員長	委 員
◎クラブ管理運営委員会	彌富 照皇 (副会長)	親睦・スマイル (親睦・受付・スマイル)	片岡 貞志 副) 内田信行 副) 松田和成	中島 祐爾 緒方 公一 山田 公也
		出席・プログラム (出席・プログラム・受付)	渡邊俊一郎 副) 内田信行 副) 松田和成	川崎 直樹 平城 大海 片岡 正和
		会報・雑誌 (会報・雑誌・受付)	松尾 浩	
		ロータリー情報	松本 繁	潮谷 愛一 鈴木 義親 白木 誠一
◎会員増強委員会	福井 学 (会長エレクト)	会員増強 (会員増強・職業分類・会員選考)	杉本 整哉	全 会 員
◎公共イメージ委員会	松岡 泰光	広報 (広報全般)	松元 将潔	井村 宣敏
◎ロータリー財団委員会	武末 直大	ロータリー財団 (ロータリー財団全般)	山本 浩之	
◎奉仕プロジェクト委員会	前田日出夫 (直前会長)	職業奉仕 (職業奉仕プロジェクト)	古田 哲朗	松本 一也 沼田 敏雄
		社会奉仕 (社会奉仕プロジェクト)	宮川 義行	前田 昭博 横山 佳之
		青少年奉仕 (青少年奉仕・ローターアクト)	出先 敦明 副) 宮川 義行 副) 西田 智史	志賀 重人 島村 徹男
		国際奉仕 (国際奉仕プロジェクト・ 米山奨学会)	小畑 成司	小野川善久
		姉妹クラブ (姉妹クラブ・交換学生)	緒方 公一	
◎長期戦略委員会	内田信行		副) 中島 祐爾	松本 繁 山田 公也 前田日出夫 堤 勝也 福井 学
「2025－2026年度 国際ロータリー第2720地区組織」				
■職業奉仕部門長 古田哲朗		■グローバル補助金委員 武末直大		
■ロータリー財団部門長／危機管理委員 彌富照皇		■米山資金推進委員 宮川義行		
■米山奨学生選考副委員長 山田公也				

クラブの概況

 2025 年 7 月 1 日現在
 幹事 草村 安宏

創 立	1984 年 (昭和 59 年 4 月 4 日)	承認 1984 年 4 月 17 日
名 称	熊本東南ロータリークラブ	
所在地域	熊本市のうち、白川の東南側にして、かつ県道高森線の北側の部分及び益城町	
事 務 所	熊本市中央区城東町 4-2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX354-4053	
例 会 日	毎週水曜日 12:30 ～ 13:30	
例 会 場	熊本ホテルキャッスル 熊本市中央区城東町 4-2 TEL 326-3311	

1. 会員数	38 名	6. 入 会 金	30,000 円
正 会 員	37 名	7. ビジターフィー	3,000 円
チャーターメンバー	2 名	8. 週 報 発 行	毎週
2. 会員の年齢構成		9. ロータリーの友	全員
80歳代： 7 名		10. ガバナー月信	インターネット
70歳代： 5 名		11. 理 事 会	定例毎月第1例会
60歳代： 10 名		12. クラブ協議会	年 4 回
50歳代： 9 名		13. クラブフォーラム	年 4 回
40歳代： 6 名		14. 家 族 会	年 2 回
30歳代： 1 名		15. 熊本地域16クラブ会長・幹事会	年 4 回
平均年齢 62.42 歳		16. 寄 付 金	
3. 前年度会員異動		R財団	累計 342,742.19 ドル
(2024.7 ～ 2025.6.30)		米山記念奨学会	累計 34,421,642 円
入 会 者	0 名	県ロータリー奨学会	累計 12,125,615 円
退 会 者	4 名		
4. 前年度平均出席率	85.39%		
ホームクラブ出席率	73.65%		
ビジター平均出席者数	0.05 名		
5. 年 会 費	230,000 円		

会 員 名 簿

2025 年 7 月 1 日現在

		氏名	職業分類	勤務先	役名
1	D	出先 教明	空調設備工事	エース産業 (株)	代表取締役
2	F	福井 学	不動産管理	(株) エステートジャパン	代表取締役
3		古田 哲朗	弁護士一般	弁護士法人 ふるた法律事務所	所長
4	H	平城 大海	飲食業	(株) リューズ THE CAT'S	店長
5	I	井村 宣敏	生命保険	アクサ生命保険 (株) 熊本営業所	セールスマネージャー
6		生駒ちあき	美容業	(株) アクアファミリー	代表取締役
7	K	草村 安宏	コンビニエンスストア	(株) フォーチュン	代表取締役
8		川崎 直樹	木工業	(有) 川崎木工	専務取締役
9		片岡 貞志	不動産業	(資) 片岡不動産	専務
10		片岡 正和	タクシー業	(有) 健軍タクシー	専務取締役
11	M	松本 繁	水道機材販売	松本実業 (株)	取締役会長
12		前田 昭博	税理士	前田税理士事務所	所長
13		松本 一也	司法書士	司法書士 松本一也事務所	所長
14		前田日出夫	理美容機械器具卸	(株) MAEDA	代表取締役
15		宮川 義行	建築塗装	(有) 宮川塗装	代表取締役
16		松岡 泰光	行政書士	行政書士 まつおか事務所	代表
17		松田 和成	建築業	サンレイプランニング (株)	代表取締役
18		松尾 浩	自動車販売・整備	松尾自動車工業 (株)	代表取締役
19		松元 将潔	総合保険	(株) 保険ショッピングエージェント	取締役社長
20	N	中島 祐爾	酒類飲料販売	(株) 中島本店	代表取締役社長
21		沼田 敏雄	電気工事	(株) ユーテックス	取締役顧問
22		西田 智史	総合保険	(株) KN アセット	取締役
23	O	小畑 成司	旅行業	熊本旅行 (株)	代表取締役
24		緒方 公一	自動車部品販売	(株) 南九州イエローハット	代表取締役
25		小野川善久	ウェディングドレスのレンタル・販売	(株) シャルル	取締役
26	S	鈴木 義親	不動産管理	(株) 土門	代表取締役
27		潮谷 愛一	社会福祉	慈愛園	福祉相談役
28		島村 徹男	木材販売	(株) 林田住建	代表取締役
29		白木 誠一	不動産 (貸ビル業)	白木ビル (株)	代表取締役
30		志賀 重人	建築塗装	(株) 志賀塗装	取締役会長
31		杉本 整哉	建築物外壁改修工事業	(株) スギモト	専務取締役
32	T	堤 勝也	鉄骨工事	熊本アイ・ビー産業 (株)	代表取締役
33		武末 直大	総合建設業	(株) TAKEMATSU	代表取締役
34	U	内田 信行	総合クレーン業	(株) 内田クレーン工業	代表取締役会長
35	W	渡邊俊一郎	総合建設業	(株) 快建設	代表取締役
36	Y	山田 公也	生命保険	メットライフ生命保険 (株)	エグゼクティブアドバイザー
37		山本 浩之	不動産業	(株) 熊本シティ不動産	代表取締役
38		横山 佳之	料理店 (和食)	(株) 瑞恵	代表取締役
39		彌富 照皇	発達支援施設	(株) ケ・セラ	代表取締役

熊本東南ローターアクトクラブの概況

2025 年 7 月 1 日現在

創 立 1990 年 (平成 2 年 6 月 13 日)
名 称 熊本東南ローターアクトクラブ
事務所 熊本市中央区城東町 4-2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX354-4053
例会日 毎月第 2、第 3 火曜日 20:00～21:00
例会場 熊本市中央公民館 熊本市中央区若葉町 5 番 1 号 〒 860-0843

1. 会 員 数 25 名

2. 会 員 性 別 男子 16 名 女子 9 名

3. 年 会 費 一般会員 12,000 円 (一人当たり /1,000 円 × 12 カ月)
学生会員 6,000 円 (一人当たり /500 円 × 12 カ月)

4. 入 会 金 なし

5. ビジターフィー 1,000 円 (学生 500 円)

6. 会 報 発 行 不定期

7. 理 事 会 毎月 1 回

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
1984. 3.21	第 1 回例会	
4. 4	創立総会	
4.17	国際ロータリー加盟認証	
1984. 8. 7	田中ガバナー公式訪問	
10.27 ~ 10.28	地区大会 (都城市)32 名	
12. 8	チャーターナイト	
12. 8		県立運動公園に太陽電池時計を寄贈
12. 8		ロータリー財団に特別寄付 (50 万円)
12. 8		熊本県 R 奨学会に特別寄付 (30 万円)
1985. 4. 1 ~ 1987. 3.31		米山奨学生 (ロー・コーチュン) のホスト
5.29		県立運動公園に太陽電池時計を寄贈
5.29		県立運動公園に清掃奉仕
5.29		山之内小学校に記念植樹
1985. 8.15		慈愛園山の家キャンプに参加 (10 万円寄付)
11.16 ~ 11.17	地区大会 (八代市)54 名	
10.23		湖東中学校に難聴児訓練機器を寄贈
1986. 1. 4		市内 RC 新春合同例会のホスト
1.22	大久保ガバナー公式訪問	
4. 6		市内 RC 親善ソフトボール大会のホスト
1986. 8. 6	姫野ガバナー公式訪問	
8.15		慈愛園サマーキャンプに参加 (10 万円寄付)
9.30		国際精神里親運動に参加 (フィリピン)
10.15 ~ 10.22		G.S.E のホストファミリー (添島会員)
11.15 ~ 11.16	地区大会 (大分市)25 名	
11.19		健軍小学校に難聴児訓練機器の寄贈
1987. 2.22		第 1 回東地区少年柔道剣道大会主催
4.18		市内 RC 親善ゴルフ大会ホスト
1987. 8.22 ~ 1988. 6.29		交換学生 (コリン・ジョンソン) のホスト ホストファミリー (添島, 潮谷, 有馬, 永井会員)
10.17 ~ 10.18	地区大会 (本渡市)30 名	
12.24		慈愛園にクリスマスプレゼント (10 万円寄付)
1988. 2.14		I.G.F(熊本県内 RC) のホスト
2.28		第 2 回東地区少年柔道剣道大会主催
3. 2	堀田ガバナー公式訪問	
3.29		ポリオプラスチャリティーコンサート
4.11		熊本城東ロータリークラブのスポンサー (特別代表田代会員、同補佐石崎会員)
1988. 8. 4		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
10.12	黒木ガバナー公式訪問	
11. 7 ~ 11.10		11 名台湾板橋南区 RC 訪問 (予備調査)
11.11 ~ 11.13	地区大会 (別府市)50 名	
11.27		熊本城東ロータリークラブのチャーターナイト
1989. 3. 3 ~ 3. 6		12 名台湾板橋南区 RC 創立 1 周年記念参加
4. 5	創立 5 周年記念例会	台湾板橋南区 RC より郭会長他 25 名来訪
4. 5	創立 5 周年記念事業	(1) 台湾板橋南区 RC と姉妹クラブ締結調印 (2) 県立東稜高校へ記念植樹 (15 万円目録) (3) 県奨学会へ寄付金 100 万円贈呈 (4) ポリオプラス募金目標 100% 以上達成
5.20 ~ 5.24	国際大会 (ソウル)15 名	会員 13 名 (永井憲雄、佐野 茂、平野正二、佐藤国夫、沼田敏雄、鈴木義親、伊藤敏雄、西野英世、山下芳之、竹中伸之、麻生憲一、河岸彦治、野田昭人) 家族 2 名
6.25		第 3 回東地区少年柔道剣道大会主催
1989. 7. 1		ロータリー財団奨学生中田智子推薦クラブ (カウンセラー今村徹会員)
8.10		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
8.		河川浄化に伴うホタル飼育調査研究
9.		国際精神里親 (2 名から 3 名に増員)
10.29		GSE(デンマーク) クヌード、クヌッセンの ホストファミリー (鈴木会員)
11. 1	寿崎ガバナー公式訪問	
11.11 ~ 11.12	地区大会 (熊本市)63 名	
1990. 3. 3 ~ 3. 6		台湾板橋南区 RC 創立 2 周年記念例会に出席 (14 名)
4. 4	創立 6 周年記念例会	台湾板橋南区 RC より記念例会に出席 劉会長以下 17 名来訪 (絵画交換)
5.16		GSE 推薦クラブ (熊本市職員辻信太郎、デンマークへ出発)
6.10		第 4 回東地区少年柔道剣道大会主催
6.13	熊本東南ローターアクト クラブ発会式 (会員 25 名)	
6.24	国際大会 (ポーランド) 1 名	石崎会長出席
1990. 8. 7		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付) (熊本市社会福祉協議会より表彰を受ける)
8.22		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10.13 ~ 10.14	地区大会 (人吉市)31 名	
11.14	大平ガバナー公式訪問	
1991. 3. 2	熊本東南ローターアクトクラブ チャーターナイト (会員 25 名)	
3. 3 ~ 3. 6		台湾板橋南区 RC 創立 2 周年記念例会に出席 (29 名)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
5.19		木山川の清掃奉仕
6.19		第 5 回東地区少年柔道剣道大会主催
4. 1 ~ 1992. 3.31		米山奨学生 (林倩穂) のホスト
1991. 8. 9		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
9.16		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
9.18	伊東ガバナー公式訪問	
10.12 ~ 10.13	地区大会 (中津市)38 名	
1992. 3.31 ~ 4. 1		台湾板橋南区 RC 来訪 29 名、 3/31 熊本城歓迎花見会 4/1 クラブ記念例会に出席
6.14		第 6 回東地区少年柔道剣道大会主催
1992. 7.30		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
9.12		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10. 7	緒方ガバナー公式訪問	
10.17 ~ 10.18	地区大会 (八代市)81 名	
1993. 1. 20		GSE(アメリカ)6 名来熊、担当クラブとして企業案内 (国際奉仕)
2.24		益城町木山城跡公園にて植樹 (社会奉仕)
3. 3 ~ 3. 7		台湾板橋南区 RC 創立 5 周年記念例会に出席 31 名参加 (内夫妻 11 組)
6.13		第 7 回東地区少年柔道剣道大会主催
4. 1 ~ 1995. 3.31		米山奨学生 (陳秋娟) のホスト
1993. 7.29		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
8.25 ~ 1994. 6		交換学生 (アソシエ・ゲージ) のホストホストファミリー (平野、佐藤、鈴木、添島会員)
9.11		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
9.18 ~ 9.19	ローターアクト年次大会	ホスト (熊本東南ローターアクトクラブ)
9.22	田北ガバナー公式訪問	
9.27		GSE 来熊訪問団の県庁、市役所、各放送局 表敬訪問の案内 (国際奉仕)
10.12 ~ 10.13	地区大会 (別府市)40 名	
12.10 ~ 12.12		台湾板橋南区 RC 訪問 (姉妹クラブ)
1994.2. 16		益城町辻ヶ峰公園に植樹 (社会奉仕)
2.26	創立 10 周年記念事業	留学生交流会
4. 2	創立 10 周年記念事業	記念チャリティーゴルフ大会
4. 3	創立 10 周年記念式典	

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
4. 3	創立 10 周年記念事業	①熊本県ロータリー奨学会へ寄贈 (100 万円) ②熊本市へホテルの里育成資金の寄贈 (30 万円)
6.12 ~ 6.15	国際大会 (台北)2 名	田代長弘、室原牧夫
6.19		第 8 回東地区少年柔道剣道大会主催
1994 . 8. 11		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
8.16		第 4 回中九州ロータリー少年野球大会のコホスト
9.11		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10.15 ~ 10.16	地区大会 (熊本市)43 名	
11 月中旬より		7 グループに分かれて IDM を実施
12. 7	奥村ガバナー公式訪問	
1995. 3. 3 ~ 3. 5		台湾板橋南区 RC 創立 7 周年記念例会に出席 25 名
6.15		「麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう」 国連支援募金 (10 万円寄付)
1995 . 7.16 (第一日目)		台湾板橋南区 RC 及び同国板橋教育保護者協議会一行 (27 名) の歓迎会を開催
7.16 (第二日目)		日本の一般教育、特殊教育、環境保全教育や ボランティア制度、PTA 運営について 熊本市立健軍小学校及び砂取小学校を視察
8.18		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
9. 9		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に 伝える会 (9 万円寄付)
11. 1	前岡ガバナー公式訪問	
11. 5		熊本市東地区少年柔剣道大会開催 (熊本市総合体育館)
1996 . 3.26	第 2720 地区全九州青少年 卓球大会	熊本市東 RC のコ・ホストを行う
4. 1 ~ 1997. 3.31		米山奨学生 (全英淑) のホスト
4. 4		姉妹クラブ台湾板橋南区 RC (18 名) 公式来訪
4.13 ~ 4.14	地区大会 (別府市) (23 名)	
6.27		「麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう」 国際支援募金 (10 万円寄付)
6.27		財団法人「熊本地下水基金」に寄付 (10 万円)
1996 . 7.31	岸忠雄ガバナー公式訪問	
8. 8		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
9.14		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10.25 ~ 10.27	アジア地域大会 (於 パンコック 10 名参加)	会員 6 名 (伊藤岐雄、室原牧夫、平野正二、内田信行、中哲、 田代長弘) 家族 4 名

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
10.26 ~ 10.31		GSE 受入 英国・マークアダムス
11.17		第 10 回熊本東地区少年柔剣道大会開催 (於 能本市総合体育館)
11.23 ~ 11.24	第 2720・2730 地区連合地区 大会 (於鹿児島アリーナ 21 名参加)	
1997. 3. 3 ~ 3. 5		姉妹クラブ 台湾板橋南区 RC 非公式訪問 (12 名参加)
3. 8		第 2720 地区第 3 分区 IM ホスト能本東 RC、コ・ホスト能本東南 RC
3.30		新世代会議開催 (於 熊本県立大学 100 名参加) (熊本東南 RC、熊本城東 RC 共同開催)
6.15 ~ 6.18	国際大会 (イギリス)	平野パスト会長夫妻出席
6.25		(財) 熊本地下水基金に 10 万円寄付
6.25		麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう 国際支援募金へ 10 万円寄付
1997. 8. 14		慈愛園サマーキャンプ参加 (10 万円寄付)
9. 3	西島世晃ガバナー公式訪問	
9.13		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
11. 9		第 11 回熊本東地区少年柔剣道大会開催 (於 熊本市総合体育館)
12.17		泉ヶ丘校区公民館館長 福富明憲氏を表彰 (職業奉仕委員会)
1998. 3. 1 ~ 3. 3		姉妹クラブ台湾板橋南区 RC 公式訪問、 創立 10 周年記念式典参加 (会員 26 名、家族 17 名、計 43 名参加)
3. 7		熊本城東ロータリークラブ創立 10 周年記念式典 (於 熊本ホテルキャッスル)
3.15		第 2720 地区第 3 分区 IM ホスト能本グリーン RC (於 熊本市青年会館)
4.17 ~ 4.19	地区大会 (佐伯市) (10 名)	
5.15		麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう 国際支援募金へ 10 万円寄付
6.24		(財) 熊本地下水基金に 10 万円寄付
1998. 7. 1		鍛本ルシアナ (米山奨学生) 受入 (98/5 月より引継)
8. 5	東勝俊ガバナー公式訪問	
8.14		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
9.12		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
10.16 ~ 10.18	地区大会 (熊本市) 27 名	
10.24		第 12 回熊本東地区少年柔剣道大会開催 (於 熊本市総合体育館)
1999 . 2. 20		第 2720 地区熊本県 7 分区合同 IM ホスト熊本北 RC、於 熊本県立劇場 (29 名)
4. 7	創立 15 周年記念式典	熊本東南 RC 創立 15 周年記念式典 姉妹クラブ板橋南区 RC より式典参加 (会員 15 名、家族 8 名、計 23 名)
	創立 15 周年記念事業	(1) 熊本城復元募金として熊本市へ 20 万円寄付 (2) 熊本県ロータリー奨学会へ 30 万円寄付
5.23		麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう 国際支援募金へ 10 万円寄付
6.13 ~ 6.16	国際大会 (シンガポール)	平野会員夫妻出席
1999 . 7. 1 ~		楯本ルシアナ (米山奨学生) 受入 ('98 年 5 月より引継、'00 年 3 月終了)
8.10		国際親善奨学生 (吉水雅洋) 姉妹クラブ RC として送り出し
8.12		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
9.11		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10. 7		トルコ地震義援金寄付 (59,050 円)
10.13		不知火町高潮被害義援金寄付 (10 万円)
10.14		台湾大地震義援金寄付 (30 万円)
11. 6 ~ 11. 7	地区大会 (熊本市) 23 名	
11. 7 ~ 11.11		GSE 来熊訪問団の Lisa・K・LEWIS を ホストファミリーとして受入れ (室原牧夫会員)
11.10 ~		ヘル・ハートーズ (熊本学園大学留学生) を例会に招待 (お父様が北アイルランド Antrim RC の会員) (12 月まで毎週)
12. 8 ~	菅敏郎ガバナー公式訪問	
2000. 2.19		第 2720 地区熊本県 7 分区合同 IM ホスト熊本西 RC 於 熊本県立劇場
3. 3		姉妹クラブ台湾板橋南区 RC 非公式訪問 (13 名参加)
4. 1 ~		紀遼 (米山奨学生) 受入 ('00 年 4 月 ~ '01 年 3 月予定)
5.24		和歌山東南 RC より 4 名来訪 (友好クラブ締結について打合せ)
6. 1		麻薬・覚醒剤・シンナーの乱用をなくそう 国際支援募金へ 10 万円寄付
6.11		熊本東南ロータリークラブ 創立 10 周年記念式典 (於 藤崎ホテル)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
6.25		和歌山東南 RC を来訪 (友好クラブ締結仮調印)
2000. 7. 1		紀遼 (米山奨学生) 受入 (2000 年 4 月より引継 2001 年 3 月終了)
8.10		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
9. 9		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
11. 4 ~ 11. 5	地区大会 (大分市)19 名	
11.26		第 13 回熊本東地区少年柔剣道大会 (熊本市総合体育館)
2001. 2.17		第 2720 地区熊本県 7 分区合同 IM ホスト熊本東南 RC 於 熊本県立劇場
3.22		インド地震義援金として第 2720 地区へ 10 万円寄付
3.29		姉妹クラブ台湾板橋南区 RC より公式訪問 熊本東南 RC 創立 17 周年記念例会参加 (会員 10 名、ご家族 6 名、計 16 名参加)
4.15		友好クラブ和歌山東南 RC30 周年記念式典参加 (会員 17 名、家族 4 名、計 21 名) 於 沖縄
6.24	国際大会 (米国、テキサス州サンアントニオ)	河岸彦治会長、平野正二会員出席
6.20		世界社会奉仕プロジェクト同額補助金として 10 万円 を寄付 (国際奉仕委員会)
6.20		福祉ふれあいワークを作る会」へ 10 万円寄付 (社会奉仕委員会)
6.20		「川辺川を守りたい女性たちの会」へ 10 万円寄付 (環境保全委員会)
2001. 8 ~ 2002. 6		交換学生 (ハーリー・ジョンズ) のホスト ホストファミリー (潮谷会員、岡崎会員、鷲山会員)
8. 7		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
8.22	水谷房之ガバナー公式訪問	
8. 8		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を 青少年に伝える会 (社会奉仕)
10.17		GSE(ドイツ) 来熊訪問団の一般研修を担当 (国際奉仕委員会)
10.27 ~ 10. 28	地区大会 (八代市)27 名	
11.11		第 14 回熊本東地区少年柔剣道大会 (熊本市総合体育館) (新世代奉仕委員会)
2002. 1.17		熊本市域 R C 新春合同例会ホスト

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2.16		第 2720 地区熊本県 7 分区合同 IM ホスト宇土 RC 於 宇土市民会館ホール
4. 1 ～		米山奨学生 (ﾌｧﾌﾞ・ｲﾏﾐ・ｴﾙﾏｲﾝ) ホスト
6.18		スペシャルオリンピックス熊本へ5万円寄付 (社会奉仕委員会)
6.23 ～ 6.26	国際大会 (ｽﾍﾟｲﾝ、ﾊﾟﾚﾅ)	平野正二会員夫妻出席
2002. 4 ～		ﾌｧﾌﾞ・ｲﾏﾐ・ｴﾙﾏｲﾝ (米山奨学生) 受入 (2004 年 3 月まで)
8. 6		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
8.19	西村駿一ｶﾞﾊﾞﾅｰ公式訪問	
9. 7		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に 伝える会 (社会奉仕)
11.23	第 18 回ﾎｰﾀﾞｰﾌｧﾄﾞ年次大会 (熊本東南 R A C ｷﾞｽﾄ) 熊本東南 R C 会員全員登録	
11.30		第 15 回熊本東地区少年柔道・剣道大会 (熊本市総合体育館)
12. 6 ～ 12. 8	地区大会 (別府市) 27 名	
3. 3		姉妹ｸﾞﾙｰﾌﾟ 板橋南區 R C 創立 15 周年記念式典参加 (27 名)
3.16		第 1 回くまもと吹奏楽の日 (熊本県立劇場)
4.13		ポリオ撲滅 街頭募金活動ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ (熊本東南 R C、 熊本西南 R C、熊本中央 R C 合同)
6. 4		ポリオ撲滅寄付 671,440 円
2003. 7. 1 ～		ﾌｧﾌﾞ・ｲﾏﾐ・ｴﾙﾏｲﾝ (米山奨学生) 受入 (2002 年 4 月より引き継ぎ、2004 年 3 月まで)
2003. 8 ～ 2004.7		交換学生 (白木綾二) のスポンサー
2003. 8 ～ 2004.7		交換学生 (ｸﾚｱ・ｼﾞｪﾝﾄﾞﾛ) のホスト ﾎｽﾄﾌｧﾐﾘｰ (白木会員、鈴木会員、竹中会員、河岸会員)
8.14		慈愛園サマーキャンプ (10 万円寄付)
9. 6		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を伝える会 (社会奉仕)
9. 10		「水俣市土石流災害救援募金」への協力 (96,000 円寄付)
10. 8	斉藤 和ガバナー公式訪問	
10.25	創立 20 周年記念事業①	NPO ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾞﾍﾞｯｸｽ日本・熊本へ参加、寄付 (30 万円)
11.14 ～ 16	地区大会 (熊本市) 28 名	
2004. 1.24		第 16 回熊本東地区少年柔道・剣道大会 (東海第二高等学校体育館)
2.15	創立 20 周年記念事業②	記念植樹「香りの森」へ 20 万円
4.10	創立 20 周年記念式典	
4.16	台湾 6RC と日本 6RC 共同で マッチングｸﾞﾗﾝﾄ実施	(# 50677) 合計 US\$50,000 ﾄﾞﾙの寄付による SARS 患者に 対応する医療関係者への防疫ｽｰｯ 10,000 着を贈呈 台湾台北県板橋北扶輪社を中心とした 6ｸﾞﾙｰﾌﾟ (板橋南區扶 輪社含む) と日本の 6ｸﾞﾙｰﾌﾟ (高岡 RC, 和歌山 RC, 神戸西神 RC, 高岡東 RC, 松阪山桜 RC, 熊本東南 RC)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
4.10	創立20周年記念事業③	(財)熊本県ロータリー奨学会へ寄付(50万円) 和歌山東南RCと姉妹クラブ締結 記念誌(DVD)の発刊
5.23～25	国際大会(大阪)8名	平野正二(かよ子)、古庄浩二、畑野耕造、日置和統、 内田信行、三浦 明、松本 繁
2004. 8. 1		江津湖周辺清掃奉仕活動(2005. 6月まで毎月1回) (社会奉仕委員会)
8. 1 9		新潟・福井災害義捐金として第2720地区に 26,000円寄付(社会奉仕委員会)
8. 2 4		慈愛園サマーキャンプ(10万円寄付) (新世代奉仕委員会)
9. 1 1		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会 (新世代奉仕委員会)
9. 1 7	工藤寛昭ガバナー公式訪問	
11. 1 1		台風23号、新潟県中越地震義援金としてガバナー会へ 57,000円寄付(社会奉仕委員会)
11. 20～21	地区大会(大分市)15名	
2005. 3. 13		第2回「くまもと吹奏楽の日」(熊本県立劇場) (新世代奉仕委員会)
2005. 4. 1		ポリオ撲滅募金(83,574円) 王傑梅(米山奨学生)受入(2006.3.31まで)
6. 1 9	国際大会(米国、シカゴ)	平野正二会員、小畑成司会員出席
2005. 8. 7		江津湖周辺清掃奉仕活動(2007. 6月まで毎月1回実施) (社会奉仕委員会)
8. 2 3		慈愛園サマーキャンプ(10万円寄付) (新世代奉仕委員会)
9. 3		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会 (新世代奉仕委員会)
8. 2 6	森田静一ガバナー公式訪問	
10. 29～31		第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと 実行委員会へ30万円寄付 (社会奉仕委員会)
11. 8		2005 スペシャルオリンピック九州招待熊本地区大会 へ協賛金10万円(社会奉仕委員会)
2006. 4. 7～9		姉妹クラブ 和歌山東南ロータリークラブ創立35周年 記念式典へ参加(京都)(24名)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
1 1 . 1 2 ~ 1 3	地区大会（宇城市）7名	
2006. 8. 29		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （新世代奉仕委員会）
9. 9		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会 （新世代奉仕委員会）
10. 3	玉ノ井博明ガバナー公式訪問	
10. 25		2006 スペシャルオリンピックス夏季ナショナルゲーム 熊本へ20万円寄付 （社会奉仕委員会）
1 1 . 4 ~ 5	地区大会（別府市）9名	
2007. 2. 25		拉致被害者家族支援義捐金としてガバナー会へ 5,200円寄付（社会奉仕委員会）
4. 18		姉妹クラブ 板橋南區ロータリークラブより公式訪問 （熊本東南 RC 創立 23 周年記念例会）（29 名）
5. 16		能登半島地震義捐金として R I 第 2610 地区へ 52,000円寄付
6. 13 ~ 14		姉妹クラブ 和歌山東南ロータリークラブ訪問 （姉妹クラブ締結延長（無期限））（6 名）
2007. 7		下益城郡美里町柏川地区豪雨被害見舞金 5 万円を 寄付（社会奉仕委員会）
2007. 8		美里町および中越沖地震被害における義捐金として ガバナー事務所へ 5 万円寄付（社会奉仕委員会）
2007.8.11		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （新世代奉仕委員会）
2007.8.22	杉谷卓紀ガバナー公式訪問	
2007.9.9		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝 える会（新世代奉仕委員会）
2007.11.7		「はいやくまもと2007」へ協賛金 5 万円
2008.3.2 ~ 4		姉妹クラブ 板橋南區 RC 創立 20 周年記念式典参加 （23 名）
2008.3.20		熊本市環境保全記念植樹 50 万円
2008.5.17 ~ 18	地区大会（玉名市）7 名	
2008. 8. 5		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
8. 20		第 22 回おもしろ村（IPA くまもと）へ寄付（10 万円） （奉仕プロジェクト委員会）

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
8. 28		ドクターヘリ活動支援金（10万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2008. 9. 7		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金8万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2008.10.22	杉谷卓紀ガバナー公式訪問	
2009. 2. 7	地区大会（熊本市）16名	
2009.3. 28		ドクターヘリ導入推進街頭署名活動 （奉仕プロジェクト委員会）
2009. 4. 8	創立 25 周年記念例会	姉妹クラブ板橋南區 RC、和歌山東南 RC より公式訪問
2009. 4. 16	創立 25 周年記念事業①	熊本市ふるさとの森基金へ寄付（20万円）
4. 17	創立 25 周年記念事業②	（財）熊本県ロータリー奨学会へ寄付（30万円）
2009. 8. 5		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2009. 9. 2	山崎 勝ガバナー公式訪問	
2009. 9. 13		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金8万円）（奉仕プロジェクト委員会）
2009.10.20		ドクターヘリ導入支援活動（広告制作） （援助金40万円）（社会奉仕委員会）
2009.11.22	地区大会（熊本市）11名	
2010. 3. 3～5		姉妹クラブ板橋南區ロータリークラブ訪問（21名）
2010. 3. 12		ハイチ地震義援金（39000円）
2010. 4 ～		米山奨学生 劉春燕受入（2011.3.31 まで）
2010. 8. 5		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2010. 9. 12		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金8万円）（奉仕プロジェクト委員会）
2010. 9.15	木下 光一ガバナー公式訪問	
2011. 1		「市電緑のじゅうたんサポーター制度」 オフィシャルサポーター（1万円）

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2011. 3.12・13	地区大会（別府市）4 名	
2011. 4.18	板橋南區扶輪社、板橋扶輪社、水原 RC（韓国）との共同でマツダ・ゲラント（# 73639）実施	台湾北市万里国民中学校実験室へ新しい設備を寄贈。 合計 US16,875 ドル
2011. 5		東日本大震災義援金（1,162,000 円）
2011.8.11		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2011.9.10		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2011.10.5	本田光曠ガバナー公式訪問	
2011.12.15		板橋南區扶輪社より東日本大震災義援金 宮城県育英会 50 万円 岩手県育英会 50 万円 福島県育英会 50 万円 （合計 150 万円）
2012.3.9・10	地区大会（熊本市）39 名	
2012.4		米山奨学生 李倫娜受け入れ（2013.3.31 まで）
2012.7.11	岡村泰岳ガバナー公式訪問	
2012.8.9		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2012.8.9		7.11 水害見舞いとして熊本市社会福祉協議会へ 10 万円寄付
2012.9.8		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2013.3.2～4		姉妹クラブ板橋南區ロータリークラブ訪問（21 名）
2013.3.8・9	地区大会（大分市）15 名	
2013.4.6～7		姉妹クラブ和歌山東南ロータリークラブ訪問 （19 名）
2013.8.8		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2013.9.18	赤山武興ガバナー公式訪問	
2013.9.7		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円）（奉仕プロジェクト委員会）

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2014.1～2		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 67 万円）
2014.3.15・16	地区大会（人吉市）17 名	
2014.4.19	創立 30 周年記念式典	
	創立 30 周年記念事業①	施設の高校生通学用自転車寄贈支援（67 万円）
	創立 30 周年記念事業②	特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付（30 万円）
	創立 30 周年記念事業③	公益財団法人熊本県ロータリー奨学会に基金を寄贈（30 万円）
	創立 30 周年記念事業④	記念誌（DVD）発刊
2014.5.30～6.5	国際大会（シドニー）1 名	小畑成司
2014.8.7		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2014.9.10	小山康直ガバナー公式訪問	
2013.9.6		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2015.3.21・22	地区大会（大分市）16 名	
2015.4～		米山記念奨学生 パク・ナヨン受入 （2016.3.31 まで）
2015.05.28		ネパール地震義援金（41,000 円）
2015.6.6～9	国際大会（ブラジル）2 名	志賀重人、小畑成司
2015.08.07		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2015.08.26	野田三郎ガバナー公式訪問	
2015.09.06		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円）（奉仕プロジェクト委員会）
2015.10.13		鬼怒川水害義捐金寄付（4 万円）
2016.1～2		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 84 万円）
2016.03.26	地区大会（熊本市）20 名	
2016.03.02～04		姉妹クラブ板橋南區ロータリークラブ訪問（25 名）
2016.04.02～04		姉妹クラブ和歌山東南ロータリークラブ訪問（26 名）
2016.05.28～30	国際大会（韓国）2 名	松本一也、小畑成司
2016.08.04		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2016.08.10		熊本・大分地震プロジェクト「健さん」試写会

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2016.09.14	前田眞実ガバナー公式訪問	
2016.09.03		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円）
2016.09.28-29		姉妹クラブ和歌山東南ロータリークラブより来熊（16 名）
2016.10.28	熊本第 3 グループ I M ホスト	
2016.12.14		姉妹クラブ板橋南區ロータリークラブより来熊（12 名）
2017.01 ~ 02		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 91.5 万円）
2017.03.25	地区大会（大分市）17 名	
2017.04 ~		翁力棟（米山奨学生）受入（2019.3.31 まで）
2017.06.10-14	国際大会（アトランタ）1 名	小畑成司
2017.08.03		慈愛園サマーキャンプ（10 万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2017.08.14		九州北部豪雨義援金（2000 円× 40 名）
2017.09.06	永田壮一ガバナー公式訪問	
2017.09.02		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2017.09.13		熊本城復興城主（寄附金 10 万円）
2017.11.22-23		姉妹クラブ和歌山東南ロータリークラブ訪問（7 名）
2018.01 ~ 02		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 90 万円）
2018.03.02 ~ 04		姉妹クラブ板橋南區 RC 創立 30 周年記念式典参加（40 名）
2018.03.11		益城復興スクールバス購入支援（支援金 25 万円）
2018.03.17	地区大会（熊本市）15 名	
2018.03.31	熊本城東 RC 創立 30 周年記念式典（全員登録）	
2018.06.24-27	国際大会（トロント）3 名	小畑成司、古田哲朗（三恵、結唯）、宮川義行

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2018.08.02		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2018.08.09		「平成 30 年 7 月豪雨」支援金（2000 円× 45 名）
2018.09.05	高山泰四郎ガバナー公式訪問	
2018.09.08		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2018.10.16		「平成 30 年北海道胆振東部地震」支援金 （2000 円× 45 名）
2018.11.16 ～ 17	地区大会（大分市）21 名	
2019.02 ～ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 87 万円）
2019.04		李靖清（米山奨学生）受入（2020.3.31 まで）
2019.04.13		九州北部豪雨義援金（2000 円× 40 名）
2019.04.13	創立 35 周年記念例会	（人吉市「あゆの里」にて開催）
	創立 35 周年記念事業①	（公財）熊本県ロータリー奨学会へ寄付（10 万円）
	創立 35 周年記念事業②	スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付（20 万円）
	創立 35 周年記念事業③	熊本東南 RC の歌の製作「Joyful And Good」「未来」
2019.06.01-05	国際大会（ハンブルグ）3 名	小畑成司、古田哲朗（三恵、結唯）、宮川義行
2019.08.06		慈愛園サマーキャンプ（10万円寄付） （奉仕プロジェクト委員会）
2019.09.04	瀧満ガバナー公式訪問	
2019.09.07		高齢者による伝統遊び並びに伝承行事を青少年に伝える会（援助金 8 万円） （奉仕プロジェクト委員会）
2019.11.8 ～ 9	地区大会（中津市）22 名	
2019.11.24	ポリオ根絶街頭募金活動	街頭募金：¥176、186 例会場 BOX7 月～ 11 月 20 日分 ¥115、243 例会場 BOX11 月 21 日～ 6 月分 ¥345、235 合計 ¥636、664
2020.02 ～ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援（支援金 88 万 5 千円）
2020.06.17		熊本県民総合運動公園の東屋に屋外電波時計の寄贈 および東屋の塗装作業

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2020.07.29		県南豪雨被災地でのボランティア活動 (人吉市) (11 名)
2020.09.02	硯川昭一ガバナー公式訪問	
2020.09.30		グローバル補助金奨学生 援助国側ホストロータリークラブ 川原 瞳さん (イギリス・マンチェスター大学院) 2020.09 ~ 2021.08
2020.10.03		県南豪雨被災地でのボランティア活動 (八代市坂本町) (16 名)
2020.11.10		児童発達支援事業所「ケ・セラ」での クレーン車見学&ハロウィーンごっこ (9 名)
2021.02 ~ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援 (支援金 72 万円)
2021.03.14	地区大会 (オンライン配信、熊本市)	
2021.04		ティティコンサコルウオング, サクピシット (米山奨学生) 受入 (2022.3.31 まで)
2021.06.23		板橋南區扶輪社との姉妹クラブ締結延長 (調書面にて)
2021.07		スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付 (50,000 円)
2021.08.18	オンライン例会 開始 (適宜開催)	
2021.09.15	大森克磨ガバナー公式訪問 (オンライン例会)	
2021.10.06	ハイブリッド例会 開始 (以降、毎回開催)	
2021.11		ベトナム新型コロナワクチン基金へ寄付 (21,500 円)
2021.12		NPO 法人 外国から来た子ども支援ネットくまもと へ寄付 (100,000 円)
2021.12		慈愛園支援金 (サマーキャンプが開催されなかった ため) (100,000 円)
2022.02 ~ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援 (支援金 675,000 円)
2022.04		ウクライナ避難民のために支援物資 くまモン歯ブラシセット 2,500 個を ポーランド ジェシュフ RC に空輸 (総額 707,884 円、輸送代含む)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2022.05.13 ~ 14	地区大会（大分市）21 名	
2022.05.14	ロータリー財団年次基金寄付 最優秀クラブ表彰 (大森克磨ガバナー)	
2022.06.26		慈愛園の子ども達と一緒にすびの収穫
2022.07		スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付 (50,000 円)
2022.12		慈愛園支援金 (サマーキャンプが開催されなかったため) (100,000 円)
2023.02 ~ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援 (支援金 810,000 円)
2023.3.3 ~ 5		姉妹クラブ 板橋南区扶輪社創立 35 周年記念式典参加 (20 名)
2023.3.15	堀川貴史ガバナー公式訪問	
2023.4 ~		敵瑋辰 (米山奨学生) 受入 (2024.3 まで)
2023.04.14 ~ 16	地区大会（人吉市）18 名	
2023.06.11		ポリオ根絶街頭募金 (93,075 円)
2023.08		NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付 (5 万円)
2023.8.7		慈愛園テーブルマナー講座 (慈愛園高校生 5 名、慈愛園スタッフ 4 名、熊本東南 RC 会員 5 名、合計 14 名)
2023.09.06	膳所和彦ガバナー公式訪問	
2024.02 ~ 03		施設の高校生通学用自転車寄贈支援 (支援金 735,000 円)
2024.04	創立 40 周年記念事業①	(公財) 熊本県ロータリー奨学会へ寄付 (30 万円)
2024.04	創立 40 周年記念事業②	NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・熊本へ寄付 (30 万円)
2024.04	創立 40 周年記念事業③	熊本城へテント 2 基寄贈 (50 万円)
2024.04.13	創立 40 周年記念式典	宮崎「シーガイアコンベンションセンター」にて開催
2024.05.17 ~ 18	地区大会 (大分県日田市) 17 名	
2024.6.16		台湾板橋南区扶輪社とのグローバル補助金事業「腎臓病予防キャンペーン」(台湾・板橋市)

ク ラ ブ の 歩 み

年 月 日	主 な 行 事	主 な 奉 仕 活 動
2024.6.16		(熊本東南 RC 3,150 ドルより拠出、事業費総額 45,000 ドル) (6 名訪台 中島祐爾、内田信行、緒方公一、福井学、彌富照皇、前田真希)
2024.7	創立 40 周年記念事業④	慈愛園愛光幼稚園にロータリークラブ標語看板の取り付け
2024.7	創立 40 周年記念事業⑤	熊本市教育委員会 (千原台高校) へ寄付 (熊本東南 RC 5 万円) (板橋南區扶輪社 邱慶宗 会員 5 万円、陳世通 会員 5 万円)
2024.8.20		慈愛園テーブルマナー講座 (慈愛園中高校生 8 名、慈愛園スタッフ 4 名、熊本東南 RC 会員 9 名、合計 21 名)
2024.8.21	三村彰吾ガバナー公式訪問	魏芸婷 (米山奨学生) 受入 (2026.3.31 まで)
2024.4 ~		藤崎台童園ふれあい農園看板設置セレモニー
2025.4.11		令和 7 年大船渡大規模山林火災被災地支援 (5 万円)
2025.4.25 ~ 26	地区大会 (熊本県熊本市) 28 名	
2025.5.30		RI 代 3550 地区ミャンマー大地震被災地支援金 (5 万円)
2025.6.21 ~ 25	国際大会 (カルガリー) 2 名	小畑成司、山田公也 (文香)
2025.6.29		慈愛園に坂本農園のとうもろこしの寄贈

委 員 会 活 動 計 画

委員会	クラブ管理運営委員会
委員長	彌富照皇
担当職務	親睦・スマイル
機能	親睦・受付・スマイル
担当委員長	片岡貞志
副委員長	内田信行、松田和成
委員	中島祐爾、緒方公一、山田公也、川崎直樹、平城大海、片岡正和
活動方針	(1) 親睦 親睦を深めるため 会員及び会員家族との友好の輪を深めると共にクラブの活性化と向上を図るよう「親睦行事」を企画、実行いたします。 参加して楽しかった、良かったと思える親睦活動にしたいと考えております。 (2) スマイル スマイルは、「会員や家族、事業所などの慶び事や祝い事を、笑顔（スマイル）で披露し喜びを分かち合うことで、例会を明るくし、親睦を深める。」 この目的をご理解頂くよう、努めてまいります。 例会時のスマイル報告は、担当委員が交代で行う予定です。 (3) 受付 例会時の受付は、基本的に全担当委員が可能な限りの「笑顔」で参加します。
実施計画	(1) 家族会の実施（7月、12月） (2) 日帰り親睦家族例会の実施（9月） (3) 慶祝会の実施（6月） (4) 会員、会員配偶者の誕生祝の実施 (5) 結婚記念日のお祝い（生花贈呈） (6) 新入会員の歓迎会の実施（随時） (7) レクリエーションの実施（ゴルフ、パークゴルフ、その他） (8) 各会員に年間スマイルの目標達成をお願いする。 (9) SAA と連携して、来訪者を指定席に案内する。

委 員 会 活 動 計 画

委員会	クラブ管理運営委員会
委員長	彌富照皇
担当職務	出席・プログラム
機能	出席・プログラム・受付
担当委員長	渡邊俊一郎
担当副委員長	内田信行、松田和成
委員	中島祐爾、緒方公一、山田公也、川崎直樹、平城大海、片山正和
活動方針	(1) 出席 ロータリアンの三大義務として「会費の納入、ロータリー雑誌の購読、そして例会出席」があります。出席は、入会時に受け入れた最も重要な責務であるとともに、例会出席という最小限の奉仕でもあります。出席を奨励し、出席率向上に努めます。 (2) プログラム 限られた例会回数の中で有意義な例会となるように、内容等を精査し、会員同士のつながりが深まるプログラムを目指します。
実施計画	(1) 出席 ・可能な限り例会出席をお願いしますが、難しい場合は、WEBでも参加してもらえるように周知します。 ・欠席者に対しては、メイクアップするように促します。 (2) プログラム ・会長方針に基づき、各委員会と連携し、クラブの活性化ができるプログラムを目指します。 ・各委員会が会員に伝えたい話題等を卓話に盛り込んでもらうよう配慮します。 ・例会の「出席・プログラム報告」は、各週担当者を決め多くの方に報告してもらう。 ・新入会員卓話、委員会卓話など、会員による卓話を実施します。 ・外部卓話では、会員の紹介による卓話、他クラブ会員の卓話など、幅広い内容とし、会員間の絆を深める機会が増えるように努めます。

2025/6/3

2025～2026年度 年間卓話プログラム計画

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日	2	6	3	1	5★	3	7	4	4	1	6	3
第一週	新年度方針 会長 新年度方針 奉仕プロジェクト/長期戦略	新年度方針 奉仕プロジェクト/長期戦略	委員会卓話 会報・雑誌	委員会卓話 米山奨学生卓話 (米山奨学生卓話)	休会 (祝日が含まれる週)	委員会卓話 社会奉仕	【例会変更】 1/7 新春合同 例会 西蔵RCホスト (ホテル日航)	【例会変更】 職場訪問	クラブフオーラ M③	【例会変更】 創立記念例会	休会 (法定休日)	一年の回顧 (クラブ協議会 ④-2)
第二週	9	13★	10	8	12	10	14★	11	11	8	13	10
	新年度方針 クラブ管理運営/公共イ メージ/R財団	休会 (祝日が含まれる週)	【例会変更】 9/7 日帰り親 睦家族例会	クラブフオーラ M①	委員会卓話 ロータリー財団	クラブ協議会②	休会 (祝日が含まれる週)	休会 (法定休日)	PETS報告	クラブフオーラ M④	委員会卓話 青少年奉仕	【例会変更】 慶祝会 新役員交代式
第三週	16	20	17★	15★	19	17	21	18	18★	15	20	17
	【例会変更】 新年度家族会	新年度方針お よび委員会卓 話 会員増強	10/16 ガバナー 公式訪問 新年度、平成・ 水前寺公園と合 同	年次総会/ク ラブフオーラ ②	会長年頭挨拶	【例会変更】 年忘れ家族会	休会 (祝日が含まれる週)	委員会卓話 国際奉仕	休会 (祝日が含まれる週)	地区研修・協議 会報告 (クラブ協議 ③-1)		役員挨拶 会長・幹事
第四週	23★	27	24★	22	26★	24	28	25★	25	22	27	24
	休会 (祝日が含まれる週)		休会 (祝日が含まれる週)			休会 (クラブ指定)	委員会卓話 職業奉仕	休会 (祝日が含まれる週)	委員会卓話 ロータリーアクト	地区研修・協議 会報告 (クラブ協議会 ③-2)	一年の回顧 (クラブ協議会 ④-1)	休会 (クラブ指定)
第五週	30			29		31★				29		
	クラブ協議会 ① (ガバナー補佐 訪問?)					休会 (祝日が含まれる週)				休会 (法定休日)		
月間奉仕	母子の健康月間	会員増強・新クラ ブ結成推進月間	基本的教育と議 事率向上月間/ ロータリーの友 月間(日本独自 に定めた月間)	地域社会の経済 発展月間/米山 奨学(日本独自 に定めた月間)	ロータリー財団 月間	疾病予防と治療 月間 社会奉仕月間 (熊本東南RC独 自に定めた月 間)	職業奉仕月間	平和構築と紛争 予防月間/ロー タリー創立記念日・ 世界理解と平和 の日(23日)	水と衛生月間/ 世界ロータリー アクト週間(13日 を含む月曜から の1週間)	環境月間	青少年奉仕月間 /R/国際大会 カ ナダ・カルガリー (21～25日)	ロータリー親睦 活動月間
その他		8/ 慈愛マナー ブルマナー講 座?	9/6(土) 伝承遊 びの集い(10/4 か10/11に変更 の可能性有)					2/27(金) 16:00頃～ 熊本第3G IM	3/7(土)・8日 (日) PETS	4/5(日)地区研 修協議会 4/9(木)～11 (土) 和歌山県南 RC創立55周年	5/22(金)・23 日(土) 地区大会	6/13(土)～15 (月)国際大会 (台北) 姉妹クラブ締結 延長調印式

・クラブ協議会 … 4回

・クラブフオーラ … 4回

・例会 … 39回(前年度39回)

・地区チームラウンニングセミナー(熊本市) … 2026年11月24日(土)

・地区チームラウンニングセミナー(人吉市) … 2026年2月14日(土)

・熊本第3グループ IM … 2026年2月27日(金) 16:00頃～(懇親会18:00頃～)

・PETS(人吉市) … 2026年3月7日(土)・8日(日)

・地区大会 … 2026年5月22日(金)・23日(土)

・地区研修・協議会(未定) … 2026年4月5日(日)

委員会活動計画

委員会	クラブ管理運営委員会
委員長	彌富照皇
担当職務	会報・雑誌
機能	会報・雑誌・受付
担当委員長	松尾浩
委員	中島祐爾、緒方公一、山田公也、川崎直樹、平城大海、片山正和
活動方針	(1) 「ロータリーの友」記事紹介（分担にて） (2) 委員会活動を幅広く会報（週報）に掲載する。 (3) 会員情報を会報（週報）にて紹介する。 (4) 家族例会・懇親会等の写真撮影 (5) ラインアルバムへの投稿 (6) AI を使った週報作成の負担軽減
実施計画	(1) 「ロータリーの友」記事紹介依頼を一週間前にお願いする (2) 発表される内容の原稿・レジュメ等の提出をお願いする。（メール・データ） (3) AI を使った週報作成の推進。 (4) 週報原稿のペーパーレス化の推進。 (5) ラインアルバムへの写真投稿依頼 (6) 会員の身近な出来事（趣味・家庭・仕事等）の掲載を原稿として頂くか、メールにてデータを頂く。

委員会	クラブ管理運営委員会
委員長	彌富照皇
担当職務	ロータリー情報
機能	ロータリー情報
担当委員長	松本 繁
委員	潮谷愛一、鈴木義親、白木誠一
活動方針	(1) クラブ会員がロータリーの真の良さを知り、ロータリーをもっと好きになるようロータリーに関するあらゆる情報の収集に努め、その情報を正確にかつ迅速に伝達する。 (2) 新入会員がロータリーを正しく理解し、会員の特典と責務を把握できるようにきめ細かい情報に努める。
実施計画	(1) 例会でのロータリー情報の時間は月初めの例会を除き、委員の輪番制とする。 (2) 承認を受けた入会者に対して、新入会のしおり「ようこそわがロータリークラブへ」に基づいてインフォメーションを実施する。 (3) 2025年の規定審議会における重要な決議事項について伝達する。

委員会活動計画

委員会	会員増強委員会
委員長	福井 学
担当職務	会員増強
機能	会員増強・職業分類・会員選考
担当委員長	杉本整哉
委員	全員
活動方針	会員増強と維持の重要性を再確認し、クラブの活性化と財政・奉仕活動の為に会員を増強し維持する！
実施計画	(1) まずロータリークラブを知ってもらう！ 幅広く周知させる (2) クラブの魅力を高める（活気ある例会、親睦行事等） (3) 奉仕活動等の成果を可視化し地域貢献度を伝える (4) 以上について公共イメージ委員会と連携して各方面への広報活動を強化する (5) 会員増強委員会の専門組織（班分け）を作り定期的に候補者等をリストアップして勧誘対策等を検討し実行する (6) 入会後の会員並びに休眠会員へのフォロー体制を強化する

委員会	公共イメージ委員会
委員長	松岡泰光
担当職務	広報
機能	広報全般
担当委員長	松元将潔
委員	井村宣敏
活動方針	2025-26 年度国際ロータリー会長の 年度テーマは「よいことのために手を取りあおう」 これは、分断が多い現代社会の中で、ロータリーが希望と団結の象徴であるという強い思いから生まれた言葉です。 クラブが実践する奉仕事業を中心とした様々な活動を、正確に広報することで「信頼できる団体」としてのロータリークラブの公共イメージを高めます。
実施計画	(1) マスコミへの取材依頼 奉仕事業等、様々な活動を各種メディアを通して「ロータリーブランド」を正確かつ、効果的に広報します。 (2) WEB の活用促進 奉仕事業等、様々な活動をホームページに掲載し一般の方々に向けた情報発信を行います。 (3) SNS（フェイスブック）の活用促進 奉仕事業等、様々な活動を現在公開している熊本東南ロータリークラブ公式フェイスブックページへ積極的に投稿しクラブ内外へアピールします、数値目標として現在 651 人が「いいね！」813 人がフォロー中ですので今年度中に【700 いいね！】【850 フォロー】を目標とします。 ＊1 ヶ月に 3 回＝年間 36 回の投稿を行います。 (4) (3) と連動してインスタグラムの運用を開始します、20～30 代の若い世代にも熊本東南ロータリークラブの活動を周知します。ロータリーの友の活用促進各活動を「ロータリーの友」へ積極的に投稿しクラブ内外へアピールします。 (5) 「ロータリーの友」の活用促進 各活動を「ロータリーの友」へ積極的に投稿しクラブ内外へアピールします。

委員会活動計画

委員会	ロータリー財団委員会
委員長	武末直大
担当職務	ロータリー財団
機能	ロータリー財団全般
担当委員長	山本浩之
活動方針	(1) 各補助金プロジェクトへの参加 (2) ロータリー財団の支援 (3) ロータリー財団の理解 (4) ポリオデー活動の参加 (5) ポリオプラス寄付の強化 (6) 会員増強・公共イメージ委員会など他委員会との活動協力や相互理解
実施計画	(1) ロータリー財団月毎の報告 (2) 出前セミナーの要請（財団の補助金、基礎知識セミナーを通して理解を促進していきます。） (3) P H S（ポールハリスソサエティ）ロータリーカード会員数の増強・毎年1000ドル (4) 他委員会との協力や相互理解を深めるため、分科会を開き連携を図る
委員会	奉仕プロジェクト委員会
委員長	前田日出夫
担当職務	職業奉仕
機能	職業奉仕プロジェクト
担当委員長	古田哲朗
委員	沼田敏雄、前田昭博、横山佳之、志賀重人、島村徹男、小野川善久
活動方針	職業奉仕とは何かについて、職業奉仕の歴史等についても知識を深めながら、考える機会を提供する。職業奉仕が金看板として輝くように、会員各人が、自分にとっての職業奉仕は何なのかをひと言で言えるように促していく。
実施計画	(1) 職場訪問の実施。1月を予定 (2) 職業奉仕の出前卓話 (3) 毎月の初回例会において、四つのテストの唱和または歌唱をおこなう (4) 職業奉仕とは何かについて各会員が自分の言葉で（ひと言で）言えるようにする
委員会	奉仕プロジェクト委員会
委員長	前田日出夫
担当職務	社会奉仕
機能	社会奉仕プロジェクト
担当委員長	宮川義行
委員	松本一也、沼田敏雄、前田昭博、横山佳之、志賀重人、島村徹男、小野川善久
活動方針	(1) 地域社会にある児童養護施設の福祉向上支援、青少年支援と交流を継続して行う。 (2) 新たな社会奉仕として、地域社会のニーズを捉えた、時代に合った奉仕の在り方・内容を検討するまた、国際奉仕担当委員会など、関係委員会と連携して、グローバル補助金活用の検討をする。
実施計画	(1) 慈愛園サマーキャンプに代わる取り組みとして坂本農園での野菜収穫体験に取り組む。 テーブルマナー講座については、今後、要望があった場合に開催したい (2) 児童福祉施設高校入学生通学自転車購入支援 (3) ポリオ根絶の行事への参加を行う (4) グローバル補助金の、活用検討に取り組む (5) 泉ヶ丘校区伝承遊びの集いを再開し、支援と交流を行う (6) 熊本少年友の会の支援を行う (7) スペシャルオリンピックス日本・熊本の支援を行う (8) ロータリーが地域の中で何ができるか。R C C（ロータリー地域社会共同体）への理解と取り組みを図る

委員会活動計画

委員会	奉仕プロジェクト委員会
委員長	前田日出夫
担当職務	青少年奉仕
機能	青少年奉仕・ローターアクト
担当委員長	出先教明
担当副委員長	宮川義行、西田智史
委員	松本一也、沼田敏雄、前田昭博、横山佳之、志賀重人、島村徹男、小野川善久
活動方針	(1) アクト例会へ出席し、アクトの活動内容を把握する。 (2) アクト例会を活性化させるためにも、東南ロータリー会員のアクト例会への参加を促す。 (3) 東南ロータリーが行う行事(家族会・クリスマス会等)にも、アクト会員を招待し、親睦を図る。 (4) アクトが行おうとする事業について、出来る限りの協力を行う。
実施計画	(1) アクトの会員増強について、サポートし協力する。 (2) 青少年奉仕月間にはアクトから卓話者を招いて卓話いただく。 (3) 東南ロータリーが行う奉仕活動に、アクト会員を招いて、共同で取り組む。 (4) アクトの活動内容を、東南ロータリー会員へ伝える。 (5) アクトの活動に対して、一緒に協議し取り組む。 (6) アクト主催の奉仕活動について、東南ロータリー会員へ参加を促す。

委員会	奉仕プロジェクト委員会
委員長	前田日出夫
担当職務	国際奉仕
機能	国際奉仕プロジェクト・米山記念奨学会
担当委員長	小畑成司
委員	松本一也、沼田敏雄、前田昭博、横山佳之、志賀重人、島村徹男、小野川善久
活動方針	(1) ロータリー財団部門、米山奨学部門とタイアップしてグローバル補助金、地区補助金を通じて国際交流をバックアップしていきたいと考えます。 (2) 国際ロータリアンとしてグローバルな観点から物事をとらえられるように情報を提供していく。 (3) 2720地区内で国際交流希望クラブとのマッチングサポートを実施していきたい
実施計画	(1) 熊本東南ロータリークラブを主として、グローバル補助金活用に挑戦し、第2回目のラオス視察を実施し、具体的に活動に移行していく。 (2) フィリピン里親制度を引き継ぐ (3) 2026年6月ロータリー国際大会(台湾・台北)に積極的に参加することを奨励していく。

委員会	奉仕プロジェクト委員会
委員長	前田日出夫
担当職務	姉妹クラブ
機能	姉妹クラブ・交換学生
担当委員長	緒方公一
委員	松本一也、沼田敏雄、前田昭博、横山佳之、志賀重人、島村徹男、小野川善久
活動方針	(1) 今年度は国際大会が台湾で実施され和歌山東南ロータリーの60周年式典も開催される為、計画的に準備を進めていく。 (2) 姉妹クラブの台湾、和歌山東南、友好クラブ宇佐ロータリークラブとの親睦を深める。 (3) 交換留学生の応募については積極的に対応する。
実施計画	(1) 各クラブの行事には多くの会員で参加できるよう、前もって準備する。 (2) 姉妹クラブとの親睦を深める為に各クラブへの訪問を行う。 (3) グローバル補助金の対象となる地域、案件について小畑会員へ確認を行い模索する。 (4) 交換学生の募集がある場合は全会員に周知し決定する。

委員会	長期戦略委員会 委 員 会 活 動 計 画
委員長	内田信行
委員	(副委員長) 中島祐爾 松本繁、山田公也、 前田日出夫、 堤勝也、 福井学
活動方針	長期戦略委員会 松本繁 前々委員長の基本理念である『Joyful and Good』を継承し、会員ひとりひとりが熊本東南ロータリークラブに入会して良かったと思ってもらえるクラブ造り、いつも生き活きとして楽しんでもらえるクラブ造り、時代に対応したクラブ造りへの指針を考え、全会員で共有し、会員が楽しめるより良いクラブ造りを目指します。 その為には、クラブの現状、課題を毎年見直し、再確認し、目指すクラブの在り方を全会員委員で考える事が出来るようにしたいと思います。 また、ロータリーを学ぶ機会を今以上に増やすことで、ロータリーの魅力を感じることが出来るシステム造りをしたいと思います。 今後もグローバル補助金プロジェクトを活用し具体的な活動を目指します。
実施計画	(1) 長期計画（2025.7～2026.6）数回の会議を設ける (2) クラブ内の親睦活動を重点し研修など行う (3) クラブ管理運営体制の強化・本年度は会員増強を重点目標とする (4) クラブフォーラムなどで機会を作り、クラブ造りに関するディスカッション開催 (5) グローバル補助金は、新たな活動を姉妹クラブと共に目指す (6) 奉仕プロジェクトと協力し、今までにない新たな奉仕活動の検討
S A A	西田 智史
副 S A A	松元 将潔
活動方針	会長・幹事を支えるとともに、会場監督として例会時における全体の把握、進行、秩序の維持に努めます。また、来訪者の案内を滞りなく行います。
実施計画	(1) 例会を円滑に行う為、各担当者と「報告・連絡・相談・調整」を密に行います (2) 来訪者に対し失礼の無いよう敬意をもって接します (3) 例会開始前には、携帯電話の電源オフ・マナーモードへの切り替え案内を行います (4) 例会場スタッフともコミュニケーションをとり、良い関係を築きます (5) 卓話の時間を確保するため、時間配分の調整を行います
会計	生駒ちあき
副会計	福井 学
活動方針	(1) 適切な資金管理を通じてクラブの財務の健全化を保ち、会員全員にわかりやすい財務内容の報告を行います。また、財務状況を共有することに努めます ① 財務の健全性と透明性の確保 ② 予算の策定と執行管理 ③ 会費・寄付金の適正管理 ④ 記録・帳簿の正確な作成と保存 ⑤ 定期的な報告と説明責任 ⑥ 次期会計担当者への円滑な引継ぎ
実施計画	(1) わかりやすい、予算書、決算書の作成を行う。 (2) 財務状況を4ヶ月に一度報告する ① 目的: クラブの財務状況を正確に管理・記録する、会員に対し、会計内容の透明性と説明責任を果たす ② 予算の策定（6月～7月）: 新年度の予算案作成（会費収入、事業収入、支出予定など）し理事会での承認を経て会員総会にて報告する ③ 月次業務: 銀行口座の照合と記録、領収書・支出記録の整理と保管を行う、会員への会費請求書の発行・回収管理を行う ④ 年次業務: 年間収支報告書を作成し会計監査を実施する。 次年度への繰越金の確認および会員総会での決算報告と承認を行う ⑤ 寄付金・基金の取り扱い: 奉仕活動や奨学金等の為の特別会計およびロータリー財団への寄付管理を行う、会計に関する領収書の発行と記録保存を行う

熊本東南RC 2025-2026 クラブカレンダー

月間	月	日	回	通算	行事	定例理事会	例会	会員等委員会	公共イメージ委員会	クラブ管理運営委員会	専門別委員会活動
母子の健康月間	2	1	1905		R1並びに2720地区	第1回	新年度方針(会長)				奉仕プロジェクト委員会
	9	2	1906				新年度方針(クラブ管理運営/公共イメージ/財団)				社会奉仕 青少年奉仕 国際奉仕 姉妹クラブ
	7	16	3	1907	7/19-20 米山夏季セミナー		【例会変更】新年度家話会				社会奉仕
	23	3	1907	7/26	クラブ活性化ワークショップ・規定審議会報告会		例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
会員増進・新クラブ結成 推進月間	30	4	1908				クラブ協議会①、ガバナー補佐訪問①				社会奉仕
	6	5	1909			第2回	新年度方針(奉仕プロジェクト/長期戦略)				社会奉仕
	13	9	1910				例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	20	6	1910				新年度方針(委員会卓話(会員増進))				社会奉仕
基本的教育と識字率向上 月間(ロータリーの本月間 (日本独自に定めた月間))	27	7	1911				委員会卓話(会報・雑誌)				社会奉仕
	3	8	1912			第3回	【例会変更】9/7日曜日建家家族例会				社会奉仕
	10	9	1913				例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	17	10	1914	9/20	大分OIRRC認証状伝達式		委員会卓話 米山(米山奨学生卓話)				社会奉仕
地域社会の経済発展月 間/米山月間(日本独自 に定めた月間)	24	10	1914			第4回	例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	1	11	1915				委員会卓話 米山(米山奨学生卓話)				社会奉仕
	8	12	1916				クラブフォーラム①				社会奉仕
	15	13	1917				【例会変更】10/16ガバナー公式訪問 東南ホスト、平成・水前寺公園と合同				社会奉仕
ロータリー-財団月間	22	14	1918								社会奉仕
	29	15	1919								社会奉仕
	5	16	1920			第5回	例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	12	16	1920				委員会卓話(ロータリー-財団)				社会奉仕
疾病予防と治癒月間/社 会奉仕月間(熊本東南R C独自に定めた月間)	19	17	1921	11/22	米山カンパニー報告会(熊本)		年次総会/クラブフォーラム②				社会奉仕
	26	18	1922	11/29	宇土RC創立40周年、11/30 熊本西RC創立40周年						社会奉仕
	3	19	1923			第6回	委員会卓話(社会奉仕)				社会奉仕
	10	20	1924	12/13	別府北RC創立60周年		クラブ協議会②				社会奉仕
平和と紛争予防月間/2 月23日ロータリー創立記 念日・世界理解と平和の 日	17	21	1925				【例会変更】年忘れ家族会				社会奉仕
	24	21	1925				例会(クラブ指定)				社会奉仕
	31	21	1925				例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	7	22	1926				【例会変更】1/7 新春合同例会(西後ホスト、ホテル日経)				社会奉仕
水と衛生月間/世界ロー ターアクト週間(3月13日 を含む1週間)	14	23	1927	1/24	地区補助金セミナー(熊本市)	第7回	例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	21	23	1927				会長年頭挨拶				社会奉仕
	28	24	1928				委員会卓話(職業奉仕)				社会奉仕
	4	25	1929				【例会変更】職場訪問				社会奉仕
環境月間	11	26	1930	2/14	地区チームランニングセミナー(人吉市)	第8回	例会(法定休日)				社会奉仕
	18	26	1930				委員会卓話(国際奉仕)				社会奉仕
	25	27	1931	2/27	熊本第36 IM		例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	4	27	1931	3/7-8	PETS(人吉市)	第9回	クラブフォーラム③				社会奉仕
青少年奉仕月間	11	28	1932	3/14	八代南RC創立50周年		PETS報告				社会奉仕
	18	28	1932	3/15	米山修了式(熊本)		例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	25	29	1933				委員会卓話(ロータリーアクト)				社会奉仕
	1	30	1934	4/5	地区研修・協議会(米吉)		【例会変更】創立記念例会				社会奉仕
ロータリー親睦活動月間	8	31	1935	4/9-10	和歌山東南RC創立55周年	第10回	クラブフォーラム④				社会奉仕
	15	32	1936	4/25	田中中央RC創立50周年		地区研修・協議会報告(クラブ協議会③-1)				社会奉仕
	22	33	1937	4/26	米山カンパニーオリエンテーション		地区研修・協議会報告(クラブ協議会③-2)				社会奉仕
	29	33	1937				例会(法定休日)				社会奉仕
ロータリー親睦活動月間	6	13	1943	5/22-23	地区大会(大分)	第11回	例会(初日が含まれる週)				社会奉仕
	13	34	1938				委員会報告(青少年奉仕)				社会奉仕
	20	35	1939	5/22-23	地区大会(大分)		一年の回顧(クラブ協議会④-1)				社会奉仕
	27	36	1940	6/6	熊本西南RC創立50周年		一年の回顧(クラブ協議会④-2)				社会奉仕
ロータリー親睦活動月間	3	37	1941	6/7	玖珠RC創立45周年	第12回	【例会変更】慶祝会・新役員交代式				社会奉仕
	10	38	1942	6/13-15	国際大会(台北) 顔印式		役員挨拶 会長・幹事				社会奉仕
	17	39	1943				例会(クラブ指定)				社会奉仕
	24	39	1943								社会奉仕

2024 ～ 2025 年度

貸 借 対 照 表

自 令和 06 年 7 月 1 日

至 令和 07 年 6 月 3 0 日

科目	金額	科目	金額
現 金	73,428		
当 座 預 金 (肥 後 銀 行)	24,565		
普 通 預 金 (肥 後 銀 行)	10,515,124		
地 区 補 助 金 口 座 (肥 後 銀 行)	0		
立替金	114,000		
国際インボックス積立金	(195,373)		
社会インボックス積立金	(172,686)		
交換学生積立金	(465,639)		
RAC 助成積立金	(1,797,250)		
姉妹クラブ積立金	(897,331)		
記念事業準備金	(1,294,665)		
	<u>(4,822,944)</u>	繰越金	10,727,117
※熊本地震義捐金内訳	(4,155,450)	(本 会 計 繰 越 金)	(3,961,277)
和 歌 山 東 南 R C	(2,000,000)		
台湾板橋南區扶輪社	(1,996,500)		
台 湾 東 南 R C	(97,500)		
和 歌 山 中 R C	(50,000)		
和歌山市内 9RC 親睦ゴルフ大会	(11,450)		
復興城主寄付		(スマイル会計繰越金)	(6,765,840)
和 歌 山 東 南 R C	▲ (100,000)	※熊本地震義捐金	(3,955,450)
台湾板橋南區扶輪社	▲ (100,000)		
※義援金残高	3,955,450		
合計	10,727,117	合計	10,727,117

収支計算書(2024～2025年度)

収入の部

令和 06 年 7 月 1 日 ～ 令和 07 年 6 月 3 0 日

項目	予算金額			実績金額		
	本会計	スマイル	合計	本会計	スマイル	合計
前期繰越金	3,075,003	7,225,844	10,300,847	3,075,003	7,225,844	10,300,847
通常収入	(10,548,000)		(10,548,000)	(9,106,800)		(9,106,800)
会費	10,350,000		10,350,000	9,085,000		9,085,000
入会金	120,000		120,000	0		0
ビジター費受入	60,000		60,000	6,000		6,000
災害見舞積立金	18,000		18,000	15,800		15,800
寄付金	(3,462,800)	90,000	(3,552,800)	(1,357,080)	79,000	(1,436,080)
R財団寄付金	1,332,750		1,332,750	799,380		799,380
米山奨学会寄付金	688,350		688,350	227,500		227,500
熊本県奨学会寄付金	280,000		280,000	158,000		158,000
フィリピン里親		90,000	90,000		79,000	79,000
ポリオ根絶	135,000		135,000	118,500		118,500
特別R財団寄付金	300,000		300,000	43,700		43,700
特別米山奨学会寄付金	300,000		300,000	10,000		10,000
特別熊本県奨学会寄付金	100,000		100,000	0		0
百万ﾄｰﾙランチ	163,350		163,350			
米山ランチ	163,350		163,350			
その他	(2,000)		(2,000)	(55,721)		(55,721)
預金利息	2,000		2,000	5,421		5,421
雑収入				50,300		50,300
小口現金受入						
特別収入	(2,825,000)	(321,000)	(3,146,000)	(3,693,798)	(249,788)	(3,943,586)
国際コインボックス収入		30,000	30,000	15,368		15,368
社会コインボックス収入		30,000	30,000	8,930		8,930
交換学生受入費	90,000		90,000	79,000		79,000
米山奨学生受入費	1,120,000		1,120,000	1,680,000		1,680,000
記念事業積立金	450,000		450,000	395,000		395,000
姉妹クラブ積立金	675,000		675,000	592,500		592,500
R A C助成金	430,000		430,000	395,000		395,000
地区補助金		261,000	261,000		249,788	249,788
家族会会費収入						
米山奨学生受入補助金	60,000		60,000	60,000		60,000
熊本東60周年登録料				468,000		468,000
スマイル会計		(1,128,000)	(1,128,000)		(1,210,000)	(1,210,000)
スマイル		1,128,000	1,128,000		1,210,000	1,210,000
単年度計	16,837,800	1,539,000	18,376,800	14,213,399	1,538,788	15,752,187
合 計	19,912,803	8,764,844	28,677,647	17,288,402	8,764,632	26,053,034

収 支 計 算 書 (2024 ～ 2025 年度)

支出の部 (クラブ運営費)

令和 06 年 7 月 1 日 ～ 令和 07 年 6 月 30 日

項目	予算金額			実績金額		
	本会計	スマイル	合計	本会計	スマイル	合計
ク ラ ブ 運 営 費	(12,138,635)		(12,138,635)	(10,284,726)	244,400	(10,529,126)
分 担 金	(1,303,425)		(1,303,425)	(1,267,684)		(1,267,684)
人 頭 分 担 金	463,680		463,680	509,583		509,583
規定審議会分担金	7,245		7,245	6,601		6,601
地 区 運 営 資 金	603,000		603,000	542,700		542,700
青少年交換委員会維持費	9,000		9,000	8,100		8,100
公共イメージ運営費	0		0	0		0
地区大会分担金	202,500		202,500	184,500		184,500
青少年交換分担金	0		0	0		0
災害見舞積立金	18,000		18,000	16,200		16,200
地 区 会 合 関 係 費	(127,500)		(127,500)	(227,600)		(227,600)
地区研修・協議会登録料	55,000		55,000	55,000		55,000
P E T S	20,000		20,000	29,100		29,100
I M 登 録 料	22,500		22,500	97,000		97,000
セミナー参加費	30,000		30,000	46,500		46,500
寄 付 金	(2,381,650)		(2,381,650)	(1,352,820)	244,400	(1,597,220)
R 財 団 寄 付 金	1,305,525		1,305,525	779,820		779,820
米山奨学会寄付金	661,125		661,125	242,500		242,500
熊本県奨学会寄付金	280,000		280,000	162,000		162,000
ポ リ オ 根 絶	135,000		135,000	118,500		118,500
特別 R 財団寄付金		300,000	300,000		28,400	465,475
特別米山奨学会寄付金		300,000	300,000			70,000
特別県奨学会寄附金		100,000	100,000			0
百万ドルランチ寄付金		136,125	136,125		104,000	104,000
米山ランチ寄付金		136,125	136,125		112,000	112,000
災 害 義 援 金				50,000		50,000
会 合 費	(3,900,000)		(3,900,000)	(3,257,575)		(3,257,575)
例 会 費	3,890,000		3,890,000	2,693,775		2,693,775
市域会長幹事会費	10,000		10,000	10,000		10,000
理 事 会 費	100,000		100,000	75,683		75,683
熊本東 RC60 周年お祝い金			0			50,000
熊本東 RC60 周年登録料						468,000
諸 会 議 費	100,001		100,001	35,800		35,800
事務費 (6RC 分担分)	(2,940,000)		(2,940,000)	(2,738,035)		(2,738,035)
事 務 所 費	50,000		50,000	50,000		50,000
家 賃	250,000		250,000	230,799		230,799
コピー代・用紙代	30,000		30,000	29,874		29,874
リース代 (PC・&電話機)	20,000		20,000	18,885		18,885
電 話 代	50,000		50,000	42,010		42,010
事務局員福利厚生費	25,000		25,000	191,203		191,203
給 料・賞 与	2,100,000		2,100,000	1,963,376		1,963,376
法 定 福 利 費	355,000		355,000	161,863		161,863
退 職 積 立 金	60,000		60,000	50,025		57,230
事 務 費	(469,800)		(469,800)	(472,545)		(472,545)
慶 弔 費	200,000		200,000	201,307		201,307
消 耗 品 費	50,000		50,000	0		0
ビジネス I B 基本料	19,800		19,800	18,150		18,150
荷 造 運 賃	50,000		50,000	6,820		6,820
支 払 手 数 料	50,000		50,000	82,879		82,879
雑 費	100,000		100,000	163,389		163,389



収 支 計 算 書 (2024 ～ 2025 年度)

支出の部 (クラブ運営費)

令和 06 年 7 月 1 日 ～ 令和 07 年 6 月 3 0 日

項目	予算金額			実績金額		
	本会計	スマイル	合計	本会計	スマイル	合計
文 献 費	(690,260)		(690,260)	(736,935)		(736,935)
ロータリー手帳代	6,480		6,480	7,557		7,557
ロータリーの友購読料	165,000		165,000	135,850		135,850
会 員 名 簿	129,600		129,600	132,000		132,000
クラブ活動計画書	110,000		110,000	194,020		194,020
週 報 費	249,180		249,180	265,161		265,161
そ の 他 文 献 費	30,000		30,000	2,347		2,347
I T 情 報 費	(326,000)		(326,000)	(231,532)		(231,532)
ホームページ制作費	176,000		176,000	215,600		215,600
インターネット関連費	150,000		150,000	15,932		15,932
支出合計 (クラブ運営費)	121,138,635		121,138,635	10,284,726	244,400	10,529,126

収 支 計 算 書 (2024 ~ 2025 年度)

支出の部 (奉仕活動費)

令和 06 年 7 月 1 日 ~ 令和 07 年 6 月 3 0 日

項目	予算金額			実績金額		
	本会計	スマイル	合計	本会計	スマイル	合計
奉 仕 活 動 費	(1,959,811)	(3,443,000)	(5,402,811)	(3,042,399)	(1,754,392)	(4,796,791)
ク ラ ブ 奉 仕 費	(1,804,811)	0	(1,804,811)	(1,362,399)	0	(1,362,399)
クラブ管理運営委員会	(1,744,811)		(1,744,811)	(1,362,399)		(1,362,399)
親睦・受付・スマイル	1,711,400		1,711,400	1,334,185		1,334,185
出席・フ°ロク°ラム	33,411		33,411	28,214		28,214
会 報 ・ 雑 誌	0		0	0	0	0
ロ - タ リ - 情 報	0		0	0	0	0
会 員 増 強 委 員 会	0		0	0		0
会員増強・職業分類・会員選考	0		0	0		0
公 共 イ メ ー ジ 委 員 会	(30,000)		(30,000)	(0)		(0)
ロータリー財団委員会	(50,000)		(50,000)			
S A A	(30,000)		(30,000)	(0)		(0)
会 計	(0)		(0)	(0)		(0)
長 期 戦 略 委 員 会	(0)		(0)	(0)		(0)
奉 仕 費	(105,000)	(3,443,000)	(3,548,000)	(1,680,000)	(1,429,344)	(3,109,344)
職業奉仕プロジェクト						
社会奉仕プロジェクト		885,000	885,000		629,506	629,506
青少奉仕・ローターアクト		450,000	450,000			0
国際奉仕・米山奨学会		1,264,000	1,264,000		6,050	6,050
姉妹クラブ・交換学生	105,000		105,000			
フィリピン里親		144,000	144,000		144,000	144,000
ローターアクト助成金	400,000		400,000	400,000		400,000
米 山 地 区 受 入				1,680,000		1,680,000
地 区 補 助 金		300,000	300,000		249,788	249,788
グローバル補助金			0			0
40 周年記念事業費 (追加分)					325,048	325,048
ロータリー財団委員会	50,000		50,000	0		0
予 備 費	(5,814,357)	(5,321,844)	(11,136,201)	(3,961,277)	(6,765,840)	(10,727,117)
支出合計クラブ運営費	(12,138,635)	(0)	(12,138,635)	(10,284,726)	(244,400)	(10,529,126)
支出合計クラブ奉仕費	(1,959,811)	(3,443,000)	(5,402,811)	(3,042,399)	(1,754,392)	(4,796,791)
支 出 合 計	(14,098,446)	(3,443,000)	(17,541,446)	(13,327,125)	(1,998,792)	(15,325,917)
収 入 合 計	(16,837,800)	(1,539,000)	(18,376,800)	(14,213,399)	(1,538,788)	(15,752,187)
収入合計 (繰越+当期収入)	(19,912,803)	(8,764,844)	(28,677,647)	(17,288,402)	(8,764,632)	(26,053,034)
当 期 末 繰 越 金				(3,961,277)	(6,765,840)	(10,727,117)
(当期繰越金)				(886,274)	(-460,004)	(426,270)
(前期繰越金)				(3,075,003)	(7,225,844)	(10,300,847)

2024～2025 年度
繰越金内訳書

科目	本会計	スマイル	合計
前期繰越金	3,075,003	7,225,844	10,300,847
当期剰余金	886,274	-460,004	426,270
当期末繰越金	3,961,277	6,765,840	10,727,117
以下内訳			
国際コインボックス積立金		195,373	
社会コインボックス積立金		172,686	
交換学生受入積立金	465,639		
姉妹クラブ積立金	1,797,250		
RAC 助成積立金	897,331		
記念事業準備金	1,294,665		
義 捐 金		3,955,450	
内訳合計	4,454,885	4,323,509	
当期末繰越剰余金	-493,608	2,442,331	1,948,723

積立金内訳

科 目	前期引当金	当期積立金	当期取崩	差額	期末引当金
国際コインボックス積立金	180,005	15,368			195,373
社会コインボックス積立金	163,756	8,930			172,686
交換学生受入積立金	386,639	79,000			465,639
姉妹クラブ積立金	1,204,750	592,500			1,797,250
R A C 助 成 積 立 金	502,331	395,000			897,331
記 念 事 業 準 備 金	899,665	395,000			1,294,665
合 計	3,337,146	1,485,798			4,822,944

監査報告書

熊本東南ロータリークラブ会長 殿

2025年8月26日

会員 鈴木義親



令和6年7月1日から令和7年6月30日の事業年度の決算報告書を監査した結果、
正確に処理されていたことをご報告いたします。

ロータリー財団寄付

年 度	普通寄付	ポールハリスフェロー 準フェロー 特別寄付	ポリオ 会員寄付	ポリオ 一般寄付	合計金額	累計金額	%
	ドル	ドル	ドル	ドル	ドル	ドル	
1984～1985	3,341.02	1,000.00			4,341.02	4,341.02	1,000
1985～1986	2,424.04	1,000.00			3,424.04	7,765.06	1,800
1986～1987	3,151.46		3,869.87		7,021.33	14,786.39	3,100
1987～1988	3,062.42	1,000.00	7,338.34		11,400.76	26,187.15	5,200
1988～1989	2,482.89	11,000.00	1,752.91	5,335.70	20,571.50	46,758.65	8,700
1989～1990	4,245.71	7,200.00			11,445.71	58,204.36	10,600
1990～1991	4,815.60	2,300.00			7,115.60	65,319.96	11,800
1991～1992	4,716.98	4,500.00			9,216.98	74,536.94	—
1992～1993	4,457.72	6,200.00			10,657.72	85,194.66	—
1993～1994	4,372.14	5,104.00			9,476.14	94,670.80	—
1994～1995	4,620.00	3,800.00			8,420.00	103,090.80	—
1995～1996	3,884.11	2,700.00			6,584.11	109,674.91	—
1996～1997	4,859.41	7,200.00			12,059.41	121,734.32	—
1997～1998	4,378.07	2,500.00			6,878.07	128,612.39	—
1998～1999	4,513.91	1,200.00			5,713.91	134,326.30	—
1999～2000	4,267.78	700.00			4,967.78	139,294.08	—
2000～2001	3,654.20	3,500.00			7,154.20	146,448.28	—
2001～2002	3,154.23	600.00			3,754.23	150,202.51	—
2002～2003	3,397.67	3,500.00		5,788.27	12,685.94	162,888.45	—
2003～2004	3,620.62	2,609.09			6,229.71	169,118.16	—
2004～2005	5,182.33	2,700.00		773.83	8,656.16	177,774.32	—
2005～2006	5,145.63	1,800.00			6,945.63	184,719.95	—
2006～2007	4,686.09	200.00			4,886.09	189,605.94	—
2007～2008	4,633.03	400.00			5,033.03	194,638.97	—
2008～2009	4,247.28	1,600.00		160.00	6,007.28	200,646.25	—
2009～2010	4,133.50	1,800.00		1,320.65	7,254.15	207,900.40	—
2010～2011	4,207.17	1,300.00		1,426.83	6,934.00	214,834.40	—
2011～2012	4,316.38	1,000.00		1,481.25	6,797.63	221,632.03	—
2012～2013	3,979.50	2,750.00		1,200.00	7,929.50	229,561.53	—
2013～2014	3,835.00	200.00		1,161.76	5,196.76	234,758.29	—
2014～2015	3,613.66	1,327.11		1,004.24	5,945.01	240,703.30	—
2015～2016	3,704.27	620.96		1,077.27	5,402.50	246,105.80	—
2016～2017	5,172.83	2,700.00		995.45	8,868.28	254,974.08	—
2017～2018	4,985.45	2,300.00		1,063.64	8,349.09	263,323.17	—
2018～2019	6,521.82	2,000.00		1,186.36	9,708.18	273,031.35	—
2019～2020	6,118.33	3,000.00		6,246.03	15,364.36	288,395.71	—
2020～2021	5,947.71	7,100.00		1,183.49	14,231.20	302,626.91	—
2021～2022	5,915.73	1,778.03		1,015.75	8,709.51	311,336.42	—
2022～2023	6,195.00	3,156.34		1,703.22	11,054.56	322,390.98	—
2023～2024	5,982.42	821.66	2,257.50	3,189.44	12,251.02	334,342.00	2257.50
2024～2025	5,582.22	1,345.80	0	1,472.17	8,400.19	342,742.19	—

◎マルチプルポールハリスフェロー

鈴木 義親	PHF + 3	松本 繁	PHF + 1	小畑 誠司	PHF + 1
沼田 敏雄	PHF + 3	志賀 重人	PHF + 1	松本 一也	PHF + 1
島村 徹男	PHF + 1	白木 誠一	PHF + 1	彌富 照皇	PHF + 1
宮川 義行	PHF + 1				

ロータリー財団寄付

◎ポールハリスフェロー（1,000ドル以上）

潮谷 愛一 内田 信行 福井 学 中島 祐爾 前田日出夫

◎ロータリー財団の友

古田 哲朗	横山 佳之
小野川善久	前田 昭博
彌富 照皇	杉本 整哉
山田 公也	

◎ポリオプラス（一般募金 33 社）

1988～1989	合計	682,970 円 (5,335.70ドル)	レート	128 円	2002～2003	合計	671,440 円 (5,788.27ドル)	レート	116 円
2004～2005	合計	83,574 円 (773.83ドル)	レート	108 円					

◎ベネファクター

内田 信行

◎ポールハリスソサエティ会員

彌富 照皇

財団法人米山奨学会寄付

年 度	普通寄付金	特別寄付金	合計金額	累計金額
1984～1985	77,000 円	100,000 円	177,000 円	177,000
1985～1986	98,000 円	222,300 円	320,300 円	497,300
1986～1987	112,000 円	1,221,475 円	1,333,475 円	1,830,775
1987～1988	114,000 円	234,150 円	348,150 円	2,178,925
1988～1989	132,000 円	1,553,667 円	1,685,667 円	3,864,592
1989～1990	213,000 円	1,681,050 円	1,894,050 円	5,758,642
1990～1991	222,000 円	965,050 円	1,187,050 円	6,945,692
1991～1992	220,500 円	1,357,300 円	1,577,800 円	8,523,492
1992～1993	231,000 円	2,680,750 円	2,911,750 円	11,435,242
1993～1994	222,000 円	931,250 円	1,153,250 円	12,588,492
1994～1995	199,500 円	858,000 円	1,057,500 円	13,645,992
1995～1996	195,000 円	670,250 円	865,250 円	14,511,242
1996～1997	228,000 円	1,266,950 円	1,494,950 円	16,006,192
1997～1998	352,500 円	867,250 円	1,219,750 円	17,225,942
1998～1999	337,500 円	688,550 円	1,026,050 円	18,251,992
1999～2000	297,500 円	693,850 円	991,350 円	19,243,342
2000～2001	287,500 円	1,621,150 円	1,908,650 円	21,151,992
2001～2002	265,000 円	383,350 円	648,350 円	21,800,342
2002～2003	250,000 円	481,650 円	731,650 円	22,531,992
2003～2004	267,500 円	405,750 円	673,250 円	23,205,242
2004～2005	270,000 円	403,100 円	673,100 円	23,878,342
2005～2006	272,500 円	510,300 円	782,800 円	24,661,142
2006～2007	255,000 円	305,950 円	561,950 円	25,223,092
2007～2008	237,500 円	271,250 円	508,750 円	25,731,842
2008～2009	215,000 円	350,250 円	565,250 円	26,297,092
2009～2010	205,000 円	239,050 円	444,050 円	26,741,142
2010～2011	195,000 円	505,900 円	700,900 円	27,442,042
2011～2012	197,500 円	189,350 円	386,850 円	27,828,892
2012～2013	205,000 円	308,350 円	513,350 円	28,342,242
2013～2014	197,500 円	215,550 円	413,050 円	28,755,292
2014～2015	197,500 円	209,150 円	406,650 円	29,161,942
2015～2016	197,500 円	192,150 円	389,650 円	29,551,592
2016～2017	182,500 円	433,550 円	616,050 円	30,167,642
2017～2018	195,000 円	331,200 円	526,200 円	30,693,842
2018～2019	222,500 円	578,000 円	800,500 円	31,494,342
2019～2020	215,000 円	296,200 円	511,200 円	32,005,542
2020～2021	212,500 円	617,400 円	829,900 円	32,835,442
2021～2022	222,500 円	156,000 円	378,500 円	33,213,942
2022～2023	220,000 円	210,200 円	430,200 円	33,644,142
2023～2024	217,500 円	205,500 円	420,300 円	34,067,142
2024～2025	202,500 円	152,000 円	354,500 円	34,421,642

◎米山奨学会特別（個人）寄付者

<米山功労者>

白木 誠一
潮谷 愛一
沼田 敏雄
福井 学

松本 繁
志賀 重人
小畑 成司
宮川 義行
中島 祐爾

鈴木 義親
島村 徹男
松本 一也
内田 信行

財団法人米山奨学会寄付

<準米山功労者、他>

彌富 照皇
古田 哲朗山田 公也
前田日出夫前田 昭博
杉本 整哉

<準米山功労法人>

(有)白木商会 3万円

熊本県ロータリー奨学会寄付

年 度	普通寄付金 円	特別寄付金 円	合計金額 円	累計金額 円	備 考
1984～1985	400,000		400,000	400,000	認証状伝達式記念事業 (30 万円)
1985～1986	124,000		124,000		
"		24,224	24,224	548,224	新春合同例会残余金
1986～1987	147,500	200,000	347,500	895,724	
1987～1988	118,000		118,000		
"		3,145	3,145	1,016,869	I G F 残余金
1988～1989	640,000	500,000	1,140,000		創立 5 周年記念事業 (50 万円)
"		5,246	5,246	2,162,115	年次大会 J R 残余金
1989～1990	148,000		148,000	2,310,115	
1990～1991	149,000		149,000	2,459,115	
1991～1992	151,000	300,000	451,000	2,910,115	
1992～1993	153,000		153,000	3,063,115	
1993～1994	1,157,000		1,157,000	4,220,115	創立 10 周年記念事業 (100 万円)
1994～1995	139,000		139,000	4,359,115	
1995～1996	129,000		129,000	4,488,115	
1996～1997	152,000		152,000	4,640,115	
1997～1998	142,000	300,000	442,000	5,082,115	
1998～1999	438,000		438,000	5,520,115	創立 15 周年記念事業 (30 万円)
1999～2000	238,000	200,000	438,000	5,958,115	クラブ特別寄付 (113,000 円)
2000～2001	115,000	300,000	415,000	6,373,115	
2001～2002	106,000		106,000	6,479,115	
2002～2003	102,000		102,000	6,581,115	
2003～2004	107,000	500,000	107,000	7,188,115	創立 20 周年記念事業 (50 万円)
2004～2005	108,000		108,000	7,296,115	
2005～2006	163,500		163,500	7,459,615	
2006～2007	153,000		153,000	7,612,615	
2007～2008	190,000		190,000	7,802,615	
2008～2009	172,000	300,000	472,000	8,274,615	創立 25 周年記念事業 (30 万円)
2009～2010	164,000		164,000	8,438,615	
2010～2011	156,000		156,000	8,594,615	
2011～2012	158,000		158,000	8,752,615	
2012～2013	164,000	100,000	264,000	9,016,615	
2013～2014	158,000	300,000	458,000	9,474,615	創立 30 周年記念事業 (30 万円)
2014～2015	158,000		158,000	9,632,615	
2015～2016	158,000		158,000	9,790,615	
2016～2017	146,000		146,000	9,936,615	
2017～2018	156,000		156,000	10,092,615	
2018～2019	178,000	100,000	278,000	10,370,615	創立 35 周年記念事業 (10 万円)
2019～2020	172,000		172,000	10,542,615	
2020～2021	191,000	400,000	591,000	11,133,615	
2021～2022	178,000		178,000	11,311,615	
2022～2023	178,000			11,489,615	
2023～2024	174,000	300,000	474,000	11,963,615	創立 40 周年記念事業 (30 万円)
2024～2025	162,000		162,000	12,125,615	

◎特別寄付者

沼 田 敏 雄
白 木 誠 一

**国際ロータリー第2720地区ローターアクト
熊本東南ローターアクトクラブ
2024～2025年度 決算書**

収入の部	
・前期繰越	313,184
固定収入	
・ロータリー援助金	400,000
・会費	56,000
〈小計〉	456,000
雑収入	
・預金利息	137
・その他	0
〈小計〉	137
スマイル	
・スマイル	22,500
〈小計〉	22,500
合計	791,821

RAC会長 宮田 真二 印

RAC幹事 森 一晟 印

RAC会計 櫻井 一隆 印

支出の部	
〈例会費〉	15,240
分担金	
・人頭分担金	10,048
・地区分担金	35,000
・地区研修会	60,000
・国際交流基金	0
〈小計〉	105,048
登録料	
・地区年次大会	73,000
・地区研修会	205,000
・留学生交流会	0
・地区連絡協議会	6,000
・各種登録料	87,250
〈小計〉	371,250
委員会	
・理事会	1,100
・クラブ奉仕	67,500
・専門知識開発	0
・社会奉仕	38,280
・国際奉仕	52,000
・財務	0
・環境	0
・広報	12,500
〈小計〉	171,380
諸経費	
・事務費	0
・交通費	58,690
・通信費	23,375
・雑費	3,300
〈小計〉	85,365
その他	
〈予備費〉	0
〈次期繰越〉	43,538
合計	791,821

国際ロータリー第2720地区ローターアクト
熊本東南ローターアクトクラブ
2025～2026年度 予算書

収入の部	
・前期繰越	43,538 ①
固定収入	
・ロータリー援助金	200,000 ②
・会費	312,000 ②
・米山生徒会費	0 ③
〈小計〉	512,000
スマイル	
・スマイル	60,000 ④
〈小計〉	60,000
ビジター	
・ビジターフィー	48,000 ⑤
合計	663,538

〈補足説明〉

①前期繰越

②会員28名

学生会員500円×3名×12ヶ月

一般会員1,000円×24名×12ヶ月

③米山生徒 参加者1人

④1例会スマイル合計2,500円×例会24回分

⑤ビジターフィー 学生500円

一般会員1,000円×2名×例会24回

⑤例会場費1,500円×例会24回

⑥人頭分担金 8ドル×150円×29名

⑦⑧⑨⑩支払い義務あり

⑪5名×10,000円

⑫5名×10,000円

⑬5名×2,000円

⑭会長幹事2名×全額負担5,000円

⑮七地区交流会登録費、他地区行事等登録費

⑯2プロジェクト×10,000円

⑰3プロジェクト×20,000円

⑱1プロジェクト×20,000円

支出の部	
〈例会費〉	50,000 ⑤
分担金	
・人頭分担金	34,800 ⑥
・地区年次大会	40,000 ⑦
・地区研修会	30,000 ⑧
・国際交流基金	0 ⑨
・アクトの森分担金	0 ⑩
〈小計〉	104,800
登録料	
・地区年次大会	50,000 ⑪
・地区研修会	50,000 ⑫
・国際交流会	10,000 ⑬
・地区/IM連絡協議会	10,000 ⑭
・各種登録料	100,000 ⑮
〈小計〉	220,000
委員会	
・理事会	10,000
・クラブ奉仕	20,000 ⑯
・専門知識開発	10,000
・社会奉仕	60,000 ⑰
・国際奉仕	20,000 ⑱
・財務	5,000
・環境	0
・広報	25,000
〈小計〉	150,000
諸経費	
・事務費	5,000
・交通費	100,000
・通信費	25,000
・雑費	2,738
〈小計〉	132,738
合計	657,538

収 支 予 算 書 (2025 ~ 2026 年度)

収入の部

令和 07 年 7 月 1 日 ~ 令和 08 年 6 月 3 0 日

項目	予算金額							
	本会計	スマイル	合計	摘要	単価	数量	単位	金額
前 期 繰 越 金	4,006,277	6,720,840	10,727,117					
通 常 収 入	(9,856,800)		(9,856,800)					
会 費	9,660,000		9,660,000	会員	230,000	42	人	9,660,000
入 会 金	150,000		150,000	新入会員見込数	30,000	5	人	150,000
災 害 見 舞 積 立 金	16,800		16,800		400	42	人	16,800
ビ ジ タ ー 費 受 入	30,000		30,000	10 名	3,000	10	人	30,000
寄 付 金	(2,261,500)	(84,000)	(2,345,500)					
R 財 団 寄 付 金	1,194,150		1,194,150	年次基金 120ドル	145	42	人	730,800
				特別寄付 (任意)	300,000	1	式	300,000
				100万円 6回 平均出席者25名	1,089	150	人	163,350
米山奨学会寄付金	673,350		673,350	米山奨学	5,000	42	人	210,000
				特別寄付 (任意)	300,000	1	式	300,000
				米山 6回 平均出席者25名	1,089	150	人	163,350
熊本県奨学会寄付金	268,000		268,000	熊本県 R 奨学	4,000	42	人	168,000
				特別寄付 (任意)	100,000	1	式	100,000
フィリピン里親		84,000	84,000	フィリピン里親支援	2,000	42	人	84,000
ポ リ オ 根 絶	126,000		126,000	ポリオ根絶	3,000	42	人	126,000
そ の 他 収 入	(2,000)		(2,000)					
預 金 利 息	2,000		2,000		2,000	1	式	2,000
雑 収 入								
特 別 収 入	(2,734,000)	(771,000)	(3,505,000)					
国際コインボックス収入		30,000	30,000	毎月第 4 例会実施 平均 2,500 円	2,500	12	月	30,000
社会コインボックス収入		30,000	30,000	毎月第 4 例会実施 平均 2,500 円	2,500	12	月	30,000
交 換 学 生 受 入 費	84,000		84,000	交換学生受入	2,000	42	人	84,000
米山奨学生受入費	1,120,000		1,120,000		140,000	8	月	1,120,000
記 念 事 業 準 備 金	840,000		840,000	記念事業積立金	20,000	42	人	840,000
姉妹クラブ積立金	630,000		630,000	姉妹クラブ 積立金	15,000	42	人	630,000
R A C 助 成 金	400,000		400,000	RAC 助成金	10,000	42	人	420,000
米山奨学生受入助成金					60,000	1	式	60,000
R 財団地区補助金		311,000	311,000	自転車購入支援 (地区より)	311,000	1	式	311,000
ス マ イ ル 会 計		(1,008,000)	(1,008,000)					
ス マ イ ル		1,008,000	1,008,000	会員	24,000	42	人	1,008,000
単 年 度 収 入 計	14,854,300	1,863,000	16,717,300					
収入合計 (繰越+当期収入)	18,860,577	8,583,840	27,444,417					

収 支 予 算 書 (2025～2026 年度)

支出の部 (クラブ運営費)

令和 07 年 7 月 1 日 ～ 令和 08 年 6 月 30 日

項目	予算金額							
	本会計	スマイル	合計	摘要	単価	数量	単位	金額
ク ラ ブ 運 営 費	(12,044,064)		(12,044,064)					
分 担 金	(1,435,390)		(1,435,390)					
人頭分担金	687,300		687,300	前期 60.0ドル	145	37	人	321,900
				後期 35.5ドル	145	42	人	365,400
規定審議会分担金	6,090		6,090	1.0ドル	145	42	人	6,090
地区運営分担金	529,300		529,300	前期	6,700	37	人	247,900
				後期	6,700	42	人	281,400
公共イメージ運営費	0		0	前期	0	37	人	0
				後期	0	42	人	0
地区大会分担金	189,000		189,000	通期	4,500	42	人	189,000
日本青少年交換委員会分担金	7,900		7,900	前期	100	37	人	3,700
				後期	100	42	人	4,200
青少年交換分担金	0		0	前期	0	37	人	0
				後期	0	42	人	0
災害見舞積立金	15,800		15,800	前期	200	37	人	7,400
				後期	200	42	人	8,400
地 区 会 合 関 係 費	(123,500)		(123,500)					
地区研修協議会登録料	55,000		55,000	@ 5,000 × 11 名	5,000	11	人	55,000
PETS	20,000		20,000	登録料 10,000 円 + 宿泊費 10,000 円	20,000	1	式	20,000
IM 登録料	18,500		18,500	@ 500 × 47 名	500	37	人	18,500
セミナー参加費	30,000		30,000		30,000	1	式	30,000
寄 附 金	(2,114,500)		(2,114,500)					
R 財団寄附金	1,107,150		1,107,150	年次基金 120ドル	145	37	人	643,800
				特別寄付 (任意)	300,000	1	式	300,000
				100万円 6回 平均出席者25名	1,089	150	人	163,350
米山奨学会寄付金	648,350		648,350	米山奨学	5,000	37	人	185,000
				特別寄付 (任意)	300,000	1	式	300,000
				米山 6回 平均出席者25名	1,089	150	人	163,350
熊本県奨学会寄付金	248,000		248,000	熊本県 R 奨学	4,000	37	人	148,000
				特別寄付 (任意)	100,000	1	式	100,000
ポ リ オ 根 絶	111,000		111,000	ポリオ根絶	3,000	37	人	111,000
会 合 費	(4,000,000)		(4,000,000)					
例会費	3,890,000		3,890,000	通常食事@ 2662 (税・サ込み)	110,000	29	回	3,190,000
				米山1百万ドル@ 1730(税・サ込み)	70,000	10	回	700,000
市域会長幹事会費	10,000		10,000	(60,000)6RC 均等割	10,000	1	式	10,000
諸会議費	100,000		100,000		100,000	1	式	100,000
事 務 費 (6RC 分 担 分)	(2,940,000)		(2,940,000)					
事務所費	50,000		50,000	新聞代、火災保険代、文具、 通信費、市域名簿、備品代な ど (300,000) 6RC 均等割	50,000	1	式	50,000
家賃	250,000		250,000	(1,269,336) 6RC 人頭割	250,000	1	式	250,000
コピー代・用紙代	30,000		30,000	(145,288) 6RC 人頭割	30,000	1	式	30,000
コピー・電話機リース代	20,000		20,000	(23,060) 6RC 均等割	20,000	1	式	20,000
電話代	50,000		50,000	(290,490) 6RC 人頭割	50,000	1	式	50,000
事務局員福利厚生費	25,000		25,000	(114,000) 6RC 人頭割	25,000	1	式	25,000
給料・賞与	2,100,000		2,100,000	(11,185,012) 6RC 人頭割	2,100,000	1	式	2,100,000
法定福利費 (社会保険)	350,000		350,000	(1,858,894) 6RC 人頭割	350,000	1	式	350,000
法定福利費 (労働保険)	5,000		5,000	(25,000) 6RC 人頭割	5,000	1	式	5,000
退職積立金	60,000		60,000	(281,175) 6RC 人頭割	60,000	1	式	60,000

収 支 予 算 書 (2025 ~ 2026 年度)

支出の部 (クラブ運営費)

令和 07 年 7 月 1 日 ~ 令和 08 年 6 月 3 0 日

項目	予算金額							
	本会計	スマイル	合計	摘要	単価	数量	単位	金額
事 務 費	(469,800)		(469,800)					
慶弔費	200,000		200,000	慶祝会、香典	200,000	1	式	200,000
備品消耗品費	50,000		50,000		50,000	1	式	50,000
ビジネス I B 基本料	19,800		19,800		1,650	12	月	19,800
支払手数料	50,000		50,000		50,000	1	式	50,000
荷造運賃	50,000		50,000		50,000	1	式	50,000
雑費	100,000		100,000		100,000	1	式	100,000
文 献 費	(634,874)		(634,874)					
ロータリー手帳代	6,480		6,480	@ 648 円 × 10 冊	648	10	部	6,480
ロータリーの友購読料	130,350		130,350	前期	1,650	37	人	61,050
				後期	1,650	42	人	69,300
会員名簿	108,864		108,864		2,592	42	部	108,864
クラブ活動計画書	110,000		110,000	60 部 (@ 833/ 部)	110,000	1	式	110,000
週報費	249,180		249,180	45 回 (@ 2222/ 回)	249,180	1	式	249,180
その他文献費	30,000		30,000		30,000	1	式	30,000
I T 情 報 費	(326,000)		(326,000)					
ホームページ制作更新費	176,000		176,000		176,000	1	式	176,000
インターネット関連経費	150,000		150,000	プロバイダ契約費用	150,000	1	式	150,000
支出合計 (クラブ運営費)	12,044,064		12,044,064					

収 支 予 算 書 (2025～2026年度)

支出の部 (奉仕活動費)

令和 07 年 7 月 1 日 ～ 令和 08 年 6 月 3 0 日 25

項目	予算金額							
	本会計	スマイル	合計	摘要	単価	数量	単位	金額
奉 仕 活 動 費	(2,035,835)	(2,629,000)	(4,664,835)					
ク ラ ブ 奉 仕 費	(1,738,335)		(1,738,335)					
クラブ管理運営委員会	(1,528,335)		(1,528,335)					
親睦・受付・スマイル	1,472,650		1,472,650	新年度家族会	142,650	1	式	142,650
				新年度家族会アトラクション	50,000	1	式	50,000
				年忘れ家族会	350,000	1	式	350,000
				会員及び会員夫人誕生祝い	3,000	70	人	210,000
				結婚記念日お祝い	3,000	35	人	105,000
				日帰り親睦家族・バス代	300,000	1	式	300,000
				アトラクション	100,000	1	式	100,000
				花束	10,000	2	式	25,000
				お菓子・図書券	2,000	20	式	40,000
				おもちゃ	1,500	20	式	30,000
				酒・おつまみ	20,000	1	式	20,000
				予備費	100,000	1	式	100,000
出席・プログラム	55,685		55,685	外部卓話 5 名	11,137	5	人	55,685
会報・雑誌								
ロータリー情報	0		0					
会 員 増 強 委 員 会	(30,000)		(30,000)	打合せ費用 (¥1,000 × 5 人 × 6 回)	5,000	6	回	30,000
会 員 増 強 ・ 職 業 分 類 ・ 会 員 選 考								
公 共 イ メ ー ジ 委 員 会	(30,000)		(30,000)	会員ネームカード	600	50	枚	30,000
ロ ー タ ー 財 団 委 員 会	(50,000)		(50,000)		50,000	1	式	50,000
長 期 戦 略 委 員 会	(100,000)		(100,000)		100,000	1	式	100,000
S. A. A	(0)		(0)					
会 計	(0)		(0)					
奉仕プロジェクト委員会	(297,500)	(2,629,000)	(2,926,500)					
職業奉仕プロジェクト								
社会奉仕プロジェクト	1,115,000	1,115,000	1,115,000	慈愛園サマーキャンプ	100,000	1	式	100,000
				伝承遊びの集い	80,000	1	式	80,000
				自転車寄贈支援@ 15, 000 × 52 台分: エン¥780,000 地区補助金 ¥311,000	15,000	52	台	780,000
				熊本少年友の会	5,000	1	式	5,000
				(認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・ 熊本 支援)	50,000	1	式	50,000
				外国にルーツをもつ子ども達支援 日本語教材購入の為の図書券等	100,000	1	式	100,000
青少年奉仕・ローターアクト		250,000	250,000	ローターアクト助成金	200,000	1	式	200,000
				ローターアクト奉仕活動 への参加経費	30,000	1	式	30,000
				ローターアクトとの親睦経費	20,000	1	式	20,000
国際奉仕プロジェクト・ 米山奨学会		144,000	144,000	フィリピン里親 3 名 一人当たり ¥4, 000	12,000	12	月	144,000
				米山奨学生奨学金 14 万円	140,000	8	月	1,120,000
姉妹クラブ・交換学生	297,500		297,500	和歌山東南 RC へのお土産代	3,500	30	人	105,000
				台湾板橋東南 RC へのお土産代	3,500	30	人	122,500
				宇佐 RC へのお土産代	3,500	20	人	70,000
予 備 費	(4,780,678)	(5,954,840)	(10,735,518)					
支出合計 (当期) クラブ運営費	(12,044,064)	(0)	(12,044,064)					
支出合計 (当期) 奉仕費	(2,035,835)	(2,629,000)	(4,664,835)					
支 出 合 計 (当 期)	(14,079,899)	(8,583,840)	(16,708,899)					

単年度収入計	18,860,577	8,583,840	16,708,899					
収入合計（繰越+当期収入）	18,860,577	7,580,829	36,002,869					
次期繰越予定額	4,780,678	5,954,840	10,735,518					
収入合計（当期）	14,854,300	1,863,000	16,717,300					
支出合計（当期）	14,079,899	2,629,000	16,708,899					
収支合計（当期）	774,401	△ 766,000	8,401					

例会出席率表

2024.7~2025.6

()は出席免除者数

年月日	会員数	出席数	ホ－ム出席率(%)	MU数	修正出席数	修正出席率(%)
7月3日	41(3)	32	84.21	3	32	100.00
7月10日	41(3)	27	71.05	8	35	92.11
7月24日	41(3)	31	81.58	3	34	89.47
7月31日	41(3)	28	73.68	2	30	78.95
8月7日	41(3)	27	71.05	6	33	86.84
8月21日	41(3)	31	81.58	3	34	89.47
8月28日	41(3)	26	68.42	4	30	78.95
9月1日	41(4)	19	51.35	11	30	81.08
9月11日	41(3)	28	73.68	2	30	78.95
9月25日	41(3)	28	73.68	5	33	86.84
10月2日	41(3)	32	84.21	2	34	89.47
10月9日	41(3)	28	73.68	5	33	86.84
10月23日	41(3)	32	84.21	2	34	89.47
10月30日	41(3)	30	78.95	3	33	86.84
11月6日	41(3)	27	71.05	6	33	86.84
11月13日	41(4)	25	67.57	6	31	83.78
11月27日	41(2)	27	69.23	5	32	82.05
12月4日	41(3)	29	70.73	3	32	84.21
12月11日	41(3)	29	76.32	4	33	86.84
12月18日	41(3)	30	78.95	4	34	89.47
1月7日	40(3)	24	64.86	4	28	75.68
1月15日	40(3)	27	72.97	4	31	83.78
1月22日	40(2)	29	76.32	4	33	86.84
2月5日	40(2)	27	71.05	5	32	84.21
2月12日	40(2)	30	78.95	1	31	81.58
2月19日	40(2)	26	68.42	5	31	81.58
3月5日	39(1)	29	76.32	2	31	81.58
3月12日	39(2)	23	62.16	8	31	83.78
3月26日	39(1)	27	69.23	5	32	84.21
4月2日	39(2)	29	78.38	2	31	83.78
4月9日	39(1)	28	73.68	3	31	81.58
4月16日	39(1)	27	71.05	6	33	86.84
4月23日	39(2)	28	75.68	5	33	89.19
5月14日	39(2)	26	70.27	6	32	86.49
5月21日	38(2)	25	69.44	5	30	83.33
5月28日	38(2)	30	83.33	2	32	88.89
6月4日	38(2)	23	63.89	7	30	83.33
6月11日	38(2)	26	72.22	4	30	83.33
6月18日	38(2)	32	88.89	1	33	91.67
		27.74	73.65	4.26	31.92	85.39

会 員 出 席 率 表

2024.7 ~ 2025.6

		ホームクラブ ^o	メークアップ ^o	免除	欠席	出席合計	修正出席率	備考
D	出 先 教 明	21	6	0	12	27	69.23%	
F	福 井 学	39	0	0	0	39	100.00%	
	古 田 哲 朗	30	4	0	5	34	87.18%	
I	井 村 宣 敏	3	36	0	0	39	100.00%	
	生 駒 ち あ き	39	0	0	0	39	100.00%	
K	草 村 安 宏	37	2	0	0	39	100.00%	
	川 崎 直 樹	1	1	0	37	2	5.13%	
	片 岡 貞 志	37	2	0	0	39	100.00%	
M	松 本 繁	35	4	0	0	39	100.00%	
	前 田 昭 博	34	1	0	4	35	89.74%	
	松 本 一 也	36	3	0	0	39	100.00%	
	前 田 日 出 夫	38	1	0	0	39	100.00%	
	宮 川 義 行	38	1	0	0	39	100.00%	
	松 岡 泰 光	39	0	0	0	39	100.00%	
	松 田 和 成	39	0	0	0	39	100.00%	
	松 尾 浩	30	1	0	8	31	79.49%	
	松 元 将 潔	32	2	0	5	34	87.18%	
N	中 島 祐 爾	33	6	0	0	39	100.00%	
	沼 田 敏 雄	36	3	0	0	39	100.00%	
	西 田 智 史	33	2	0	4	35	89.74%	
O	小 畑 成 司	27	12	0	0	39	100.00%	
	緒 方 公 一	35	4	0	0	39	100.00%	
	小 野 川 義 久	2	1	0	36	3	7.69%	
S	鈴 木 義 親	37	2	0	0	39	100.00%	
	潮 谷 愛 一	26	1	0	12	27	69.23%	
	島 村 徹 男	1	0	38	0	39	2.56%	出席免除
	白 木 誠 一	30	9	0	0	39	100.00%	
	志 賀 重 人	23	0	16	0	23	58.97%	出席免除
	杉 本 整 哉	37	2	0	0	39	100.00%	
T	堤 勝 也	32	3	0	4	35	89.74%	
	武 末 直 大	31	8	0	0	39	100.00%	
U	内 田 信 行	37	2	0	0	39	100.00%	
W	渡 邊 俊 一 郎	28	11	0	8	39	100.00%	
Y	山 田 公 也	28	11	0	0	39	100.00%	
	山 本 浩 之	4	1	0	34	5	12.82%	
	横 山 佳 之	27	12	0	0	39	100.00%	
	彌 富 照 皇	28	11	0	0	39	100.00%	

歴代役員・理事・委員長一覧表

役名	1984.4～6	1984～1985	1985～1986	1986～1987	1987～1988	1988～1989	1989～1990	1990～1991	1991～1992	1992～1993	1993～1994	1994～1995	1995～1996	1996～1997	1997～1998
会長	笹田 一	堀内 正元	堀内 正元	東家 暁	佐野 茂	石崎 茂	石崎 分一	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	伊藤 敏雄
会長(外)				佐野 茂	永井 憲雄	石崎 分一	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松尾 忠	鈴木 義親
副会長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	松本 三男	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
幹事	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	松本 三男	松本 三男	竹中 伸之	河岸 彦治
会計	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	松本 三男	松本 三男	鈴木 義親	室原 牧夫
S.A.A.	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	松本 三男	松本 三男	中 哲	藤岡 雅彦
理事	平野 哲郎	(平野哲郎)	(麻生哲郎)	石崎 分一	有馬 慎二	有馬 慎二	有馬 慎二	北野 正幸	石崎 分一	松尾 忠	松本 三男	古庄 浩二	井上 忠	河岸 彦治	竹中 伸之
	伊藤野政弘	今村 徹	石崎 分一	小嶋 俊章	今村 徹	今村 徹	伊藤 敏雄	中村 忠彦	中村 忠彦	松本 三男	永井 憲雄	室原 牧夫	松本 三男	荒木 隆夫	木村 龍一
	小嶋 俊章	伊藤野政弘	今村 徹	石崎 分一	有馬 慎二	有馬 慎二	伊藤 敏雄	中村 忠彦	中村 忠彦	松本 三男	永井 憲雄	室原 牧夫	松本 三男	中村 忠彦	河野 義孝
	田代 長弘	小嶋 俊章	今村 徹	石崎 分一	有馬 慎二	有馬 慎二	伊藤 敏雄	中村 忠彦	中村 忠彦	松本 三男	永井 憲雄	室原 牧夫	松本 三男	中村 忠彦	内濱 浩二
	東家 暁	東家 暁	小嶋 俊章	石崎 分一	有馬 慎二	有馬 慎二	伊藤 敏雄	中村 忠彦	中村 忠彦	松本 三男	永井 憲雄	室原 牧夫	松本 三男	中村 忠彦	中 哲
															古庄 浩二
															永井 憲雄
															古庄 浩二
															永井 憲雄
															佐野 茂
															佐野 茂
															佐野 茂
															佐野 茂
															佐野 茂
															佐野 茂
〆〆〆奉仕委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	東家 暁	永井 憲雄	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
職業分類委員長	石崎 分一	石崎 分一	石崎 分一	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
職業増進委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
親睦活動委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
出席委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
大会出席奨励委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
〆〆〆委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
会報委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
〆〆〆委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
雑談委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
広報委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
R 情報委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
職業奉仕委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
社会奉仕委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
環境保全委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
青少年奉仕委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
R 7777委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
国際奉仕委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
R 財団委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
米山奨学委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
交換学生委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
〆〆〆7777委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
姉妹7777委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫
記念行事実行委員長	堀内 正元	堀内 正元	堀内 正元	永井 憲雄	小嶋 俊章	中島 常夫	松本 三男	平野 正二	田代 長弘	中村 忠彦	今村 徹	山下 康博	松本 三男	守田 勉	荒木 隆夫

歴代役員・理事・委員長一覧表

役名	1998～1999	1999～2000	2000～2001	2001～2002	2002～2003	2003～2004	2004～2005	2005～2006	2006～2007	2007～2008	役名	2008～2009	2009～2010	2010～2011	
会長	鈴木 義親	荒木 隆夫	河岸 彦治	木村 龍一	木下 桂甫	松本 繁	竹中 伸之	日置 和統	古庄 浩二	潮谷 愛一	会長	志賀 重人	鷺山 法雲	益田敬二郎	
会長以外	荒木 隆夫	河岸 彦治	木村 龍一	木下 桂甫	松本 繁	竹中 伸之	日置 和統	古庄 浩二	潮谷 愛一	志賀 重人	会長以外	鷺山 法雲	益田敬二郎	住江 正治	
副会長	菊川 英臣	木村 龍一	木下 桂甫	松本 繁	室原 牧夫	内田 信行	白石 誠一	潮谷 愛一	三浦 明	鷺山 法雲	副会長	益田敬二郎	住江 正治	島村 徹男	
幹事	中 哲	古庄 浩二	日置 和統	甲斐 保明	内田 信行	白木 誠一	前田 昭博	鈴木 義親	吉田 嘉昭	木野本新一	幹事	永野 正一	鈴木 義親	岡本千代門	
会計	室原 牧夫	塚本 健吉	塚本 健吉	白木 誠一	白木 誠一	白木 誠一	白木 誠一	鈴木 義親	鈴木 義親	白木 誠一	会計	白木 誠一	内田 敏規	内田 敏規	
S.A.A.	志賀 重人	早田 忠彦	内田 信行	三浦 明	橋場 則夫	河野 義孝	横山 佳之	島村 徹男	木村 龍一	白石 繁	S.A.A.	永松 昭武	松本 一也	志賀 重人	
理 事	古庄 浩二	平野 正二	今村 徹	早田 忠彦	古庄 浩二	古庄 浩二	畑野 耕造	荒木 隆夫	平野 正二	飯田 秀誠	理 事	畑野 耕造	河岸 彦治	古庄 浩二	
	畑野 耕造	日置 和統	甲斐 保明	岡本千代門	日置 和統	平野 正二	中村 忠彦	木野本新一	飯田 秀誠	川井 正彦		河野 義孝	松本 繁	中 哲	
	河岸 彦治	井上 忠	内濱 浩二	佐野 茂	畑野 耕造	早田 忠彦	永松 昭武	松本 繁	片桐 英夫	松本 一也		中 哲	前田 昭博	永野 昭一	
	甲斐 保明	金賀 正寿	井上 忠	坂梨 友一	永井 憲雄	河岸 彦治	永松 昭武	永野 昭一	松本 繁	永松 昭武		佐野 茂	中島 祐爾	祐爾 祐爾	
	中村 忠彦	室原 牧夫	白木 誠一	白石 繁	永井 憲雄	河岸 彦治	永松 昭武	永野 昭一	中村 忠彦	永野 昭一		島村 徹男	中島 祐爾	成司 成司	
	野口 洋一	松本 繁	金賀 正寿	内田 信行	中 哲	森 義臣	坂梨 友一	志賀 重人	岡本千代門	永野 昭一		白石 繁	坂梨 友一	潮谷 愛一	
	岡崎 源次	住江 正治	島村 徹男	鷺山 法雲	永野 昭一	白石 繁	白木 誠一	志賀 重人	住江 正治	竹中 伸之		竹中 伸之	横山 佳之	白木 誠一	
	潮谷 愛一	内田 信行	野口 洋一	山下 芳之	内濱 浩二	内田 信行	鷺山 法雲	吉田 嘉昭	内田 信行	内濱 浩二		内田 信行	吉田 嘉昭	高山 一美	
77 奉仕委員長	菊川 英臣	木村 龍一	木下 桂甫	松本 繁	室原 牧夫	日置 和統	古庄 浩二	潮谷 愛一	三浦 明	鷺山 法雲	会員増強委員長	鷺山 法雲	益田敬二郎	住江 正治	
職業分類委員長	住江 正治	清水 誠生	松本 繁	岡崎 源次	古庄 浩二	今村 徹	内田 信行	鷺山 法雲	岡本千代門	川井 正彦	会員増強担当	古庄 浩二	岡本千代門	白木 誠一	
会員選考委員長	鷺山 法雲	平野 正二	大津 靖公								ロータリー情報担当	佐野 茂	松本 繁	鈴木 義親	
会員増強委員長	藤岡 雅彦	山下 芳之	岡崎 源次	甲斐 保明	中村 忠彦	平野 正二	内田 信行	内濱 浩二	内田 信行	内濱 浩二	クラブ広報委員長	竹中 伸之	横山 佳之	中 哲	
親睦活動委員長	伊藤 博明	内田 信行	甲斐 保明	白石 繁	井上 忠	三浦 明	河岸 彦治	永野 昭一	内田 信行	内濱 浩二	クラブ管理運営委員長	益田敬二郎	住江 正治	島村 徹男	
出席委員長	松本 繁	竹中 伸之	永松 昭武	中 哲	野口 洋一	中 哲	内濱 浩二	畑野 耕造	志賀 重人	河野 義孝	親睦・スマイル担当	中島 祐爾	三瀬 潔	小畑 成司	
大会出席奨励委員長	今村 徹	畑野 耕造	鈴木 義親								出席・プログラム担当	川井 正彦	松本 三男	中島 祐爾	
77 奉仕委員長	金賀 正寿	中 哲	畑野 耕造	永松 昭武	三浦 明	橋場 則夫	岡本千代門	内田 信行	飯田 秀誠	河岸 彦治	会報・雑誌担当	中 哲	白石 繁	沼田 敏雄	
会報委員長	中野 秀喜	白木 誠一	橋場 則夫	内濱 浩二	永野 昭一	片桐 英夫	木野本新一	松村 達憲	河野 義孝	高木 哲男	奉仕プロジェクト委員長	潮谷 愛一	志賀 重人	鷺山 法雲	
77 奉仕委員長	永松 昭武	志賀 重人	前田 信夫	室原 牧夫	岡崎 源次	野口 洋一	畑野 耕造	木野本新一	平野 正二	竹中 伸之	職業奉仕担当	日置 和統	河岸 彦治	永野 昭一	
雑誌委員長	大津 靖公	緒方 義昌	山下 芳之	中村 忠彦	竹中 伸之	益田敬二郎	永野 昭一	佐野 茂	内濱 浩二	高山 一美	社会奉仕担当	高山 一美	木野本新一	高山 一美	
広報委員長	徳永 孝之	横山 佳之	緒方 義昌								ロータリーアクト担当	松本 一也	永松 昭武	日置 和統	
R 情報委員長	伊藤 敏雄	鈴木 義親	佐野 茂	今村 徹	河岸 彦治	木村 龍一	木下 桂甫	永井 憲雄	佐野 茂	平野 正二	国際奉仕担当	河野 義孝	前田 昭博	古庄 浩二	
職業奉仕委員長	河岸 彦治	井上 忠	金賀 正寿	岡本千代門	日置 和統	早田 忠彦	潮谷 愛一	荒木 隆夫	松本 繁	永松 昭武	姉妹クラブ担当	平野 正二	内田 信行	古庄 浩二	
社会奉仕委員長	甲斐 保明	金賀 正寿	内濱 浩二	早田 忠彦	中 哲	白石 繁	永松 昭武	白石 繁	中 哲	永野 昭一	ロータリー財団委員長	島村 徹男	吉田 嘉昭	潮谷 愛一	
環境保全委員長	河野 義孝	永松 昭武	岡本千代門	島村 徹男	片桐 英夫	岡崎 源次	大津 靖公	久保田 至							
新世代奉仕委員長	畑野 耕造	松本 繁	井上 忠	永野 昭一	白石 繁	森 義臣	片桐 英夫	吉田 嘉昭	片桐 英夫	日置 和統					
R77 委員長	片桐 英夫	日置 和統	伊藤 博明	内田 信行	内濱 浩二	永野 昭一	中 哲	三浦 明							
国際奉仕委員長	野口 洋一	室原 牧夫	白木 誠一	鷺山 法雲	永井 憲雄	内田 信行	鷺山 法雲	志賀 重人	中村 忠彦	島村 徹男					
R 財団委員長	西野 英世	岡崎 源次	清水 誠生	平野 正二	佐野 茂	荒木 隆夫	平野 正二	松本 繁	河岸 彦治	岡崎 源次					
米山奨学委員長	江藤 公俊	岡本千代門	竹中 伸之	古庄 浩二	永松 昭武	河岸 彦治	中村 忠彦	平野 正二	永松 昭武	飯田 秀誠					
交換学生委員長	田代 長弘	木下 桂甫	潮谷 愛一	潮谷 愛一	鷺山 法雲	鷺山 法雲	白木 誠一	小畑 成司							
77 奉仕委員長															
姉妹77 委員長	山下 芳之	甲斐 保明	中 哲	竹中 伸之	志賀 重人	永井 憲雄	荒木 隆夫	河岸 彦治	小畑 成司	畑野 耕造					
記念行事実行委員長					古庄 浩二	古庄 浩二									

歴代役員・理事・委員長一覧表

役名	2011～2012	2012～2013	役名	2013～2014	2014～2015	2015～2016	2016～2017	役名	2017～2018	2018	役名	2018～2019
会長	住江 正治	島村 徹男	会長	中 哲	岡本千代門	内田 敏視	永野 昭一	会長	白木 誠一		会長	白石 繁
会長以外	島村 徹男	中 哲	会長以外	岡本千代門	内田 敏視	永野 昭一	白木 誠一	会長以外	白石 繁		会長以外	内田 信行
副会長	中 哲	岡本千代門	副会長	内田 敏視	三浦 明	永野 昭一	白石 繁	副会長	内田 信行		副会長	松本 一也
幹事	内田 信行	中島 祐爾	幹事	永野 昭一	前田日出夫	山田 公也	福井 学	幹事	古田 哲朗		幹事	村瀬 直久
会計	内田 敏視	白木 誠一	会計	白木 誠一	永野 昭一	永野 昭一	山田 公也	会計	山田 公也		会計	永野 昭一
S.A.A.	河岸 彦治	中島喜代彦	S.A.A.	村瀬 直久	福井 学	吉田 嘉昭	村瀬 直久	S.A.A.	前田日出夫		S.A.A.	小松野正彦
理事	古庄 浩二 松本 繁 松本 一也 中島 祐爾 岡本千代門 白木 誠一 白石 繁 吉田 嘉昭	古庄 浩二 河岸 彦治 永野 昭一 佐野 茂 鈴木 義親 潮谷 愛一 志賀 重人 吉田 嘉昭	理事	松本 繁 前田日出夫 小畑 成司 佐野 茂 鈴木 義親 白石 繁 山田 公也	志賀 重人 松本 三男 山田 公也	鈴木 義親 河岸 彦治 松本 繁 佐野 茂 福井 学 古田 哲朗 前田日出夫	松本 一也 前田日出夫 佐野 茂 内田 信行 吉田 嘉昭 中島 祐爾 宮川 義行	理事	松本 一也 福井 学 小畑 成司 潮谷 愛一 吉田 嘉昭 島村 徹男 前田 昭博		理事	前田日出夫 山田 公也 学 繁 松本 義親 松本 義親 古庄 浩二 中島 祐爾
会員増強委員長	島村 徹男	中 哲	会員増強委員長	岡本千代門	内田 敏視	三浦 明	白木 誠一	クラブ管理運営委員長	内田 信行		クラブ管理運営委員長	松本 一也
会員増強担当	松本 繁	内田 信行	会員増強担当	白石 繁	西村 陽介	中島 祐爾	古庄 浩二	親睦・スマイル担当	横山 佳之		親睦・スマイル担当	中島 祐爾
ロータリー情報担当	佐野 茂	河岸 彦治	ロータリー情報担当	潮谷 愛一	佐野 茂	松本 繁	潮谷 愛一	出席・プログラム担当	河岸 彦治		出席・プログラム担当	福井 学
広報イメージ委員長	岡本千代門	鈴木 義親	広報イメージ委員長	佐野 茂	志賀 重人	鈴木 義親	松本 一也	会報・雑誌担当	村瀬 直久		会報・雑誌担当	松岡 泰光
クラブ管理運営委員長	中 哲	岡本千代門	クラブ管理運営委員長	内田 敏視	三浦 明	永野 昭一	白石 繁	会員増強委員長	白石 繁		ロータリー情報担当	佐野 茂
親睦・スマイル担当	古庄 浩二	松本 一也	親睦・スマイル担当	山田 公也	鈴木 義親	福井 学	宮川 義行	会員増強担当	松本 繁		会員増強委員長	内田 信行
出席・プログラム担当	鈴木 義親	潮谷 愛一	出席・プログラム担当	中島喜代彦	前田 昭博	松本 一也	古田 哲朗	ロータリー情報担当	鈴木 義親		会員増強担当	岡本千代門
会報・雑誌担当	沼田 敏雄	白石 繁	会報・雑誌担当	沼田 敏雄	吉田 嘉昭	堤 勝也	岡本千代門	公共イメージ委員長	前田 昭博		公共イメージ委員長	前田日出夫
奉仕プロジェクト委員長	益田敬二郎	住江 正治	奉仕プロジェクト委員長	島村 徹男	中 哲	岡本千代門	内田 敏視	ロータリー財団委員長	福井 学		ロータリー財団委員長	山田 公也
職業奉仕担当	白石 繁	松本 繁	職業奉仕担当	福井 学	中島喜代彦	古田 哲朗	内田 信行	奉仕プロジェクト委員長	永野 昭一		奉仕プロジェクト委員長	白木 誠一
社会奉仕担当	木野本新一	前田日出夫	社会奉仕担当	永松 昭武	堤 勝也	志賀 重人	島村 徹男	職業奉仕担当	宮川 義行		職業奉仕担当	古田 哲朗
新世代奉仕担当	松本 一也	中 哲	新世代奉仕担当	古田 成司	山田 公也	内田 信行	白木 誠一	社会奉仕担当	潮谷 愛一		社会奉仕担当	吉田 嘉昭
国際奉仕担当	前田 昭博	日置 和統	国際奉仕担当	小畑 成司	山田 公也	前田 昭博	小畑 成司	青少年奉仕担当	松本 一也		青少年奉仕担当	宮川 義行
姉妹クラブ担当	小畑 誠二	古庄 浩二	姉妹クラブ担当	松本 繁	古庄 浩二	古庄 浩二	沼田 敏雄	国際奉仕担当	小畑 成司		国際奉仕担当	小畑 成司
ロータリー財団委員長	吉田 嘉昭	志賀 重人	ロータリー財団委員長	白石 繁	松本 三男	河岸 彦治	前田日出夫	姉妹クラブ担当	中島 祐爾		姉妹クラブ担当	古庄 浩二
記念行事実行委員長		鈴木 義親	記念行事実行委員長	鈴木 義親				長期戦略委員長	松本 繁		長期戦略委員長	松本 繁
								記念行事実行委員長			記念行事実行委員長	松本 繁

歴代役員・理事・委員長一覧表

役名	2019～2020	2020～2021	2021～2022	2022～2023	2023～2024	2024～2025	2025～2026
会長	内田 信行	松本 一也	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫	堤 勝也
会長代行	松本 一也	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫	堤 勝也	福井 学
副会長	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫	村瀬 直久	福井 学	彌富 照皇
幹事	中島 祐爾	福井 学	松岡 泰光	杉本 整哉	緒方 公一	福井 学	草村 安宏
会計	永野 昭一	永野 昭一	永野 昭一	前田日出夫	前田日出夫	生駒あき	生駒あき
S.A.A.	彌富 照皇	松岡 泰光	緒方 公一	松田 和成	片岡 貞志	杉本 整哉	西田 智史
理 事	佐野 茂	小畑 成司	松本 繁	内田 信行	松本 繁	古田 哲朗	松本 繁
	古庄 浩二	鈴木 義親	内田 信行	永野 昭一	内田 信行	松岡 泰光	松田 和成
	福井 学	白石 繁	村瀬 直久	福井 学	福井 学	緒方 公一	杉本 整哉
	前田日出夫	前田日出夫	福井 学	彌富 照皇	草村 安宏	彌富 照皇	中島 祐爾
	山田 公也	中島 祐爾	古田 哲朗	草村 安宏	松岡 泰光	松田 和成	緒方 公一
	緒方 公一	村瀬 直久	草村 安宏	緒方 公一	松田 和成	武末 直大	古田 哲朗
	松岡 泰光	緒方 公一	杉本 整哉	松尾 浩	杉本 整哉	松尾 浩	渡邊俊一郎
							内田 信行
							片岡 貞志
クラブ管理運営委員長	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫	村瀬 直久	福井 学	彌富 照皇
親睦・スマイル担当	緒方 公一	堀内健太郎	草村 安宏	福井 学	松岡 泰光	松田 和成	片岡 貞志
出席・プログラム担当	松岡 泰光	杉本 整哉	松田 和成	草村 安宏	松田 和成	片岡 貞志	渡邊俊一郎
会報・雑誌担当	沼田 敏雄	沼田 敏雄	沼田 敏雄	松尾 浩	松尾 浩	松尾 浩	松尾 浩
ロータリー情報担当	鈴木 義親	潮谷 愛一	鈴木 義親	潮谷 愛一	鈴木 義親	松本 繁	松本 繁
会員増強委員長	松本 一也	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫	堤 勝也	福井 学
会員増強担当	小畑 成司	古庄 浩二	小畑 成司	小畑 成司	内田 信行	渡邊俊一郎	杉本 整哉
公共イメージ委員長	福井 学	白石 繁	村瀬 直久	松岡 泰光	渡邊俊一郎	松岡 泰光	松岡 泰光
ロータリー財団委員長	山田 公也	村瀬 直久	古田 哲朗	彌富 照皇	武末 直大	武末 直大	武末 直大
奉仕プロジェクト委員長	白石 繁	内田 信行	松本 一也	吉田 嘉昭	山田 公也	中島 祐爾	前田日出夫
職業奉仕担当	古田 哲朗	古田 哲朗	前田日出夫	古田 哲朗	古田 哲朗	古田 哲朗	古田 哲朗
社会奉仕担当	嶋山 佳之	前田日出夫	杉本 整哉	村瀬 直久	宮川 義行	宮川 義行	宮川 義行
青少年奉仕担当	宮川 義行	宮川 義行	宮川 義行	宮川 義行	杉本 整哉	西田 智史	出先 教明
国際奉仕担当	堤 勝也	彌富 照皇	彌富 照皇	松本 一也	小畑 成司	小畑 成司	小畑 成司
姉妹クラブ担当	古庄 浩二	堤 勝也	古庄 浩二	堤 勝也	福井 学	内田 信行	緒方 公一
長期戦略委員長	松本 繁	松本 繁	松本 繁	永野 昭一	永野 昭一	内田 信行	内田 信行

入 会 者

2022 ～ 2023 年度

入 会 日	氏 名

退 会 者

退 会 日	氏 名
2024 年 12 月 31 日	永野 昭一
2025 年 03 月 02 日	住江 正治
2025 年 05 月 16 日	宮國 龍乃
2025 年 06 月 18 日	山坂 哲生

姉妹クラブ 台湾板橋南區扶輪社との相互訪問実績および予定

與日本熊本東南扶輪社結盟日期一覽表（附表一）

年 度		創立年度		訪 問 社			備 註
西 元	民 國	熊本東南	板橋南區	熊本東南	板橋南區	續盟	
1988-1989	77-78	5	1	●		○	板橋南區創立 1 週年
1989-1990	78-79	6	2		●		
1990-1991	79-80	7	3	●			
1991-1992	80-81	8	4		●	○	
1992-1993	81-82	9	5	●			板橋南區創立 5 週年
1993-1994	82-83	10	6		●		熊本東南創立 10 週年
1994-1995	83-84	11	7	●		○	
1995-1996	84-85	12	8		●		
1996-1997	85-86	13	9				
1997-1998	86-87	14	10	●		○	板橋南區創立 10 週年
1998-1999	87-88	15	11		●		熊本東南創立 15 週年
1999-2000	88-89	16	12	●			
2000-2001	89-90	17	13		●	○	
2001-2002	90-91	18	14				
2002-2003	91-92	19	15	●			板橋南區創立 15 週年
2003-2004	92-93	20	16		●	○	熊本東南創立 20 週年
2004-2005	93-94	21	17				
2005-2006	94-95	22	18	●			
2006-2007	95-96	23	19		●	○	
2007-2008	96-97	24	20	●			板橋南區創立 20 週年
2008-2009	97-98	25	21		●		熊本東南創立 25 週年
2009-2010	98-99	26	22	●		○	
2010-2011	99-100	27	23				
2011-2012	100-101	28	24		●		
2012-2013	101-102	29	25	●		○	板橋南區創立 25 週年
2013-2014	102-103	30	26		●		熊本東南創立 30 週年
2014-2015	103-104	31	27	●			
【以上為原定表格內容】							

姉妹クラブ 台湾板橋南區扶輪社との相互訪問実績および予定

與日本熊本東南扶輪社結盟日期一覽表（附表二）（逢 5 週年或 10 週年及續盟往來）

年 度		創立年度		訪 問 社			備 註
西 元	民 國	熊本東南	板橋南區	熊本東南	板橋南區	續盟	
2015-2016	104-105	32	28	●		○	
2016-2017	105-106	33	29				
2017-2018	106-107	34	30	●			板橋南區創立 30 週年
2018-2019	107-108	35	31		●		熊本東南創立 35 週年
2019-2020	108-109	36	32				
2020-2021	109-110	37	33		●	○	
2021-2022	110-111	38	34				
2022-2023	111-112	39	35	●			板橋南區創立 35 週年
2023-2024	112-113	40	36		●		熊本東南創立 40 週年
2024-2025	113-114	41	37				
2025-2026	114-115	42	38	●		○	
2026-2027	115-116	43	39				
2027-2028	116-117	44	40	●			板橋南區創立 40 週年
2028-2029	117-118	45	41		●		熊本東南創立 45 週年
2029-2030	118-119	46	42				
2030-2031	119-120	47	43		●	○	
2031-2032	120-121	48	44				
2032-2033	121-122	49	45	●			板橋南區創立 45 週年
2033-2034	122-123	50	46		●		熊本東南創立 50 週年
2034-2035	123-124	51	47				
2035-2036	124-125	52	48	●		○	
2036-2037	125-126	53	49				
2037-2038	126-127	54	50	●			板橋南區創立 50 週年
2038-2039	127-128	55	51		●		熊本東南創立 55 週年

姉妹クラブ 和歌山東南 R C との相互訪問実績および予定

年 度		創 立		訪 問		備 考
西暦	平成 / 令和	東南	和歌山	熊本	和歌山	
1999 ~ 2000	11 ~ 12	16	29		和歌山	友好クラブ締結打合せ（4名）
2000 ~ 2001	12 ~ 13	17	30	熊本		和歌山東南 R C 30 周年（沖縄）、友好クラブ締結
2001 ~ 2002	13 ~ 14	18	31			
2002 ~ 2003	14 ~ 15	19	32			
2003 ~ 2004	15 ~ 16	20	33		和歌山	熊本東南 R C 20 周年、姉妹クラブ締結
2004 ~ 2005	16 ~ 17	21	34			
2005 ~ 2006	17 ~ 18	22	35	熊本		和歌山東南 R C 35 周年（京都）
2006 ~ 2007	18 ~ 19	23	36			
2007 ~ 2008	19 ~ 20	24	37			
2008 ~ 2009	20 ~ 21	25	38		和歌山	熊本東南 R C 25 周年
2009 ~ 2010	21 ~ 22	26	39			
2010 ~ 2011	22 ~ 23	27	40	東南		和歌山東南 R C 40 周年（箱根） ※東日本大震災のため中止
2011 ~ 2012	23 ~ 24	28	41			
2012 ~ 2013	24 ~ 25	29	42	東南		和歌山東南 R C 42 周年（和歌山）
2013 ~ 2014	25 ~ 26	30	43		和歌山	熊本東南 R C 30 周年
2014 ~ 2015	26 ~ 27	31	44			
2015 ~ 2016	27 ~ 28	32	45	東南		和歌山東南 R C 45 周年（和歌山）
2016 ~ 2017	28 ~ 29	33	46			
2017 ~ 2018	29 ~ 30	34	47			
2018 ~ 2019	30 ~ 31	35	48		和歌山	熊本東南 R C 35 周年
2019 ~ 2020	31 ~ 01	36	49			
2020 ~ 2021	01 ~ 02	37	50	東南		和歌山東南 R C 50 周年（和歌山）
2021 ~ 2022	02 ~ 03	38	51			
2022 ~ 2023	03 ~ 04	39	52			
2023 ~ 2024	04 ~ 05	40	53		和歌山	熊本東南 R C 40 周年
2024 ~ 2025	05 ~ 06	41	54			
2025 ~ 2026	06 ~ 07	42	55	東南		
2026 ~ 2027	07 ~ 08	43	56			
2027 ~ 2028	08 ~ 09	44	57			
2028 ~ 2029	09 ~ 10	45	58		和歌山	熊本東南 R C 45 周年

ロータリーの標語

(Motto of Rotary International)

超我の奉仕

(Service Above Self)

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

(One Profits Most Who Serves Best)

ロータリーの使命

(The Mission of Rotary International)

R C の世界的連合体である R I の使命は、
他者に奉仕し、高い倫理基準を促進し、
事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて
世界理解、親善、平和を促進することである。



職業分類一覧表

令和 7 年（2025 年）7 月現在

1. 職業分類の概況
2. 関連部門別会員一覧表
3. 職業分類一覧表

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025



国 際ロータリー第 2 7 2 0 地区
熊 本 東 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

1. 職業分類の概況

令和7年（2025年）7月現在

関	連	部	門	78 部門
---	---	---	---	-------

職	業	分	類	259 種
---	---	---	---	-------

充	填	数	31 種
---	---	---	------

未	充	填	数	228 種
---	---	---	---	-------

会	員	総	数	37 名
---	---	---	---	------

2. 関連部門別会員一覧表

令和5年（2023年）7月現在

部門	計	部門	計
木材産業	1	音楽用品	
農業及び園芸		時計	
農機具工業		宝石	
畜産		皮革工業	
林業		家具室内装飾	
農業・肥料		写真	
建設業	7	化粧品	
建築材料		美容機材販売	1
冷暖房		運輸	
工事	2	倉庫	
上下水道及び灌漑		不動産	5
鉄鋼業	1	金融	
金属加工業		保険	4
金物		ホテル・リゾートレストラン	2
機械及び装置	1	冠婚葬祭	
自動車工業	1	レクレーション	
石油工業		洗濯・クリーニング 及び清掃用具配布	
ガス		展示場	
化学工業		美容	1
プラスチック工業		法律	1
ゴム工業		ビジネスサービス	3
窯業		放送	
ガラス工業		ニュースサービス	
光学製品		広告宣伝	
工業		通信事業	
羊毛工業		無線事業	
被服工業		コンピューター	
一般食品	1	医療	
動物性食品		歯科医療	
植物性食品		病院	
菓子		医療装置及び機材	
嗜好飲料	1	医療品	
冷凍		医療関連施設	
たばこ産業		教育	
事務所用品		芸術	
印刷及び出版		宗教	
紙工業		消防及び消火	
電気及び電子工業	1	福祉施設	1
衣料及び一般商品	3	団体	1
食品		合計	37

3. 職業分類一覧表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
農 林 ・ 水 産 ・ 畜 産	木材産業 農業及び園芸	木材販売	島村 徹男	(株) 林田 住建	代表取締役
		農業			
		花卉栽培			
		造園			
		農園			
	農機具工業	農機具			
	畜産	牧畜業			
		獣医			
	林業	酪農			
		植林			
建 築 工 事	建設業	山林			
		農薬・肥料	農薬・肥料		
		住宅建築			
		建物リフォーム			
		建築請負業			
		コンクリート躯体工事			
		木工業	川崎 直樹	(有) 川崎 木工	取締役専務
		建築設計			
		設計コンサルタント			
		店舗設計			
		土木業			
		防水工事			
		建築塗装	志賀 重人	(株) 志賀 塗装	取締役会長
			宮川 義行	(有) 宮川 塗装	代表取締役社長
		道路建設			
	総合建設業	建築物外壁改修工事業	杉本 整哉	(株) スギモト	代表取締役
			武末 直大	(株) TAKE MATSU	取締役
			吉永 陽三	(株) 吉永産業	副社長
			渡邊 俊一郎	(株) 快建設	代表取締役
		建築業	松田 和成	サンレイプランニング(株)	代表取締役
	建築材料	建築材料販売			
		石材加工販売			
		生コンクリート製造			
		コンクリート製造			
		コンクリート圧送			
	冷暖房	冷暖房器具販売			
		冷暖房設備工事			
	工事	水道機材販売	松本 繁	松本実業(株)	取締役会長
		管工事			
		空調設備	出先 教明	工一ス産業(株)	代表取締役
		電話工事			
		総合設備			
	下水道及び灌漑	浄化槽			

3. 職業分類一覧表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
金属・ 鉱業	鉄 鋼 業	鉄 鋼 販 売			
		工 具 販 売			
		鉄 骨 工 事	堤 勝 也	熊本アイ・ビー産業(株)	代 表 取 締 役
	金 属 加 工 業	製 罐			
		アルミサッシ加工			
	金 物	金 物 製 造			
機 械 ・ 輸 送 機	機 械 及 び 装 置	機 械 工 場			
		索 道 製 造			
		総 合 ク レ ー ン 業	内 田 信 行	(株)内田クレーン工業	代表取締役会長
		建 築 ク レ ー ン 業			
	自 動 車 工 業	国 産 車 販 売			
		外 国 車 販 売			
		自 動 車 整 備			
		自 動 車 販 売・整 備	松 尾 浩	松尾自動車工業株式会社	代 表 取 締 役
		自 動 車 鋁 金 塗 装			
		ト ラ ッ ク 販 売			
		自 動 二 輪 販 売			
		自 動 車 部 品 販 売			
化 学 ・ 石 油 ・ 窯 業	石 油 工 業	石 油 販 売			
		ガソリンスタンド			
	ガ ス	液 体 及 び 圧 縮 ガ ス			
		ガ ス 器 具			
	化 学 工 業	塗 料 販 売			
	プ ラ ス チ ッ ク 工 業	プ ラ ス チ ッ ク 製 品			
	ゴ ム 工 業	タイヤ・チューブ販売			
	窯 業	屋 根 瓦 製 造			
衣 類 ・ 織 維	工 業	生 糸 製 造			
		綿 布 ・ 染 色			
	羊 毛 工 業	毛 糸 販 売			
		毛 織 物 販 売			
	被 服 工 業	男 子 服 製 造			
		紳士服オーダーメイド			
		婦 人 服 製 造			
食 品	一 般 食 品	め ん 類 販 売			
		穀 物 販 売			
		海 産 物 製 造 販 売			
		水 産 加 工 物			
	動 物 性 食 品	乳 製 品 販 売			
		食 品 加 工			
		卵 販 売			
	植 物 性 食 品	青 果 市 場			
		青 果 卸 業			
		青 果 販 売			
		果 物 加 工			

3. 職業分類一覽表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
食	植 物 性 食 品	味 噌 製 造			
		醤 油 製 造			
		豆 腐 製 造			
		植 物 油 製 造			
		パ ン 販 売 製 造			
	菓 子	和 菓 子 製 造			
		洋 菓 子 製 造 販 売			
	嗜 好 飲 料	日 本 酒 製 造			
		蒸 留 酒 販 売			
		酒 類 飲 料 販 売	中 島 祐 爾	(株) 中 島 本 店	代表取締役社長
		炭 酸 飲 料 製 造			
	冷 凍	果 汁 飲 料 製 造			
		冷 蔵			
	品	た ば こ 産 業	た ば こ		
事 務 所 用 品		Ｏ Ａ 機 器 小 売 販 売			
	Ｏ Ａ 機 器 卸 販 売				
	事 務 用 品 販 売				
品	印 刷 及 び 出 版	印 刷			
	紙 工 業	紙 製 品 製 造			
ダ ン ボ ー ル					
電 気 ・ 電 子	電気及び電子工業	電 気 工 事	沼 田 敏 雄	(株) ユ ー テ ッ ク ス	代表取締役会長
		電 気 器 具 販 売			
		通 信 電 子 機 器 販 売			
		電 気 通 信 工 事			
		電 気 屋 内 配 線			
商 業 ・ 雑 貨	衣料及び一般商品	百 貨 店			
		ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト			
		コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア	草 村 安 宏	(株) フ ォ ー チ ュ ン	代 表 取 締 役
		呉 服			
		ウ ェ イ ン グ ト リ ー の 外 ・ 販 売	小 野 川 善 久	(株) シ ャ ル ル	取 締 役
		一 般 ギ フ ト 卸			
		玩 具 卸			
		袋 物 製 造 卸 業			
		業 務 用 雑 貨 卸 業			
		古 物 商			
		生 花 販 売			
	自 動 車 部 品 販 売	緒 方 公 一	(株) 南 九 州 イ エ ロ ー ハ ッ ト	代 表 取 締 役	
	食 品	貿 易			
	音 楽 用 品	楽 器			
時 計	時 計				
貨	宝 石	宝 石 貴 金 属			
	皮 革 工 業	皮 革 製 品 製 造			
	家 具 室 内 装 飾	家 庭 用 家 具 製 造			
		家 庭 用 家 具 販 売			
室 内 装 飾 業					

3. 職業分類一覧表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
商業・ 雑貨運	写真	肖像写真			
		カメラ販売			
	化粧品	化粧品販売			
		美容材料卸			
運輸・ 倉庫	美容機材販売		理美容機械器具卸	前田日出夫(株) M A E D A	代表取締役
	運輸	航空運輸			
		飛行場管理			
		バス事業			
		タクシー業			
		運送業			
		小型貨物運送			
不動産	倉庫	倉庫			
		不動産業	山本浩之	(株)熊本シティ不動産	代表取締役
			片岡貞志	(株)片岡不動産	代表社員
		不動産管理	鈴木義親	(株)土門	代表取締役
		不動産鑑定士	福井学	(株)エステートジャパン	代表取締役
		不動産賃貸付			
		不動産コンサルタント			
金融・ 保険	金	住宅経営			
		土地開発			
		不動産(貸ビル業)	白木誠一	白木ビル(株)	代表取締役
	融	都市銀行			
		地方銀行			
		信用金庫			
		証券業			
	保	損害保険			
		火災保険			
		生命保険	山田公也	メットライフ生命保険(株)	エグゼクティブコンサルタント
			井村宣敏	アクサ生命保険(株)八代営業所	所長
一般 サービス	サ	総合保険	松元将潔	(株)保険ショップエージェント	代表取締役
			西田智史	(株)KNアセット	取締役
		観光産業			
		ホテル			
		旅行業	小畑成司	熊本旅行(株)	代表取締役
		料理店(和食)	横山佳之	(株)瑞恵	代表取締役
	ビ	料理店(洋食)			
		飲食業			
		居酒屋			
ス	レクレーション	スナック			
		冠婚葬祭	冠婚葬祭業		
		映画館			
		鉄砲火薬販売			
		スポーツ用品販売			

3. 職業分類一覧表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
一般	レクリエーション	スポーツ（団体）			
		ゴルフクラブ			
		ビデオレンタル			
		ゴルフ会員権販売			
		アミューズメント機器販売			
	洗濯・クリーニング及び清掃用具配布	ビルメンテナンス業			
		クリーニング			
		清掃用具配布			
	展示場	画廊			
		博物館			
		植物園			
サ ー ビ ス	美容	美容業	生駒 ちあき	(株)アクアフファミリー	代表取締役
	法律	弁護士一般	古田 哲朗	ふるた法律事務所	所長
		弁護士民事			
		弁護士刑事			
		公証人			
	ビジネスサービス	公認会計士			
		税理士	前田 昭博	前田税理士事務所	所長
		司法書士（登記）	松本 一也	司法書士松本一也事務所	所長
		司法書士（訴訟）			
		行政書士	松岡 泰光	行政書士まつおか事務所	代表
		信用販売			
		人材派遣			
		興信所			
		経営コンサルタント			
情 報 ・ 通 信	放送	放送局			
	ニュースサービス	新聞販売			
	広告宣伝	広告宣伝			
		広告制作			
	通信事業	情報処理事業			
		郵便事業			
		情報通信業			
	無線事業	移動通信			
医 療 及 び 関 連 産 業	医療	内科医			
		胃腸科医			
		外科医			
		精神科医			
		大腸肛門科医			
		産婦人科医			
		病院			
		歯科			
	歯科医療	歯科口腔外科			
		歯科技工士			

3. 職業分類一覧表

関連部門別		職業分類	会員名	勤務先	役職名
医療 及び 関連 産業	病院	総合病院			
		医療機材販売			
	医療装置及び機材	歯科用機材販売			
		医療品販売			
	医療関連施設	薬局			
		臨床検査 リハビリテーション			
教育 ・ 芸 術 ・ 宗 教	教育	国立大学			
		私立大学			
		公立高校			
		私立高校			
		私立実業校			
		語学専門学校			
		医療専門学校			
		自動車学校			
		予備校			
		幼稚園			
	芸術	保育園			
		音楽（洋楽）			
		音楽（邦楽）			
		文芸			
		洋画			
		日本画			
		茶道			
		書道			
		陶磁工芸			
	宗教	仏教			
		キリスト教			
		神道			
施設 ・ 団 体	消防及び消火	消防			
		消火器販売			
	福祉施設	児童施設			
		発達支援施設	彌富照皇(株)	ケ・セラ	代表取締役
		老人施設			
		障害者施設			
	団体	慈善団体			
		社会福祉	潮谷愛一	慈愛園	福祉相談役
		体育協会			
		共済会			
		農業協同組合			
		商工協同組合			
		赤十字社			
		団体			
		音楽団体			



定 款

2025



国 際ロータリー第2720地区
熊本東南ロータリークラブ

目 次

第1条	定 義	1
第2条	名 称	1
第3条	クラブの目的	1
第4条	クラブの所在地域	1
第5条	目 的	2
第6条	五大奉仕部門	2
第7条	会 合	3
第8条	会員身分	4
第9条	クラブの会員構成	4
第10条	出 席	5
第11条	理事および役員および委員会	7
第12条	会 費	8
第13条	会員身分の存続	9
第14条	地域社会、国家、および国際問題	11
第15条	ロータリーの雑誌	12
第16条	ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守	12
第17条	仲裁および調停	12
第18条	細 則	13
第19条	改 正	13
附		14

熊本東南ロータリークラブ定款

第1条 定義

1. 理事会： 本クラブの理事会
2. 細則： 本クラブの細則
3. 理事： 本クラブ理事会の理事
4. 会員： 名誉会員以外の本クラブ会員
5. RI： 国際ロータリー
6. 衛星クラブ： 潜在的クラブ。その会員は本クラブの会員でもある。
(該当する場合)
7. 書面： 文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
8. 年度： 7月1日に始まる12ヵ月間

第2条 名称

本会は、熊本東南ロータリークラブとする。

(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は次の通りである。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

第4条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りである。

熊本市のうち、白川の東南側にして、かつ県道熊本高森線の北側の部分および益城町
本クラブの衛星クラブは、本クラブと同じ、またはその周辺地域に所在するものとする。

第5条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実地的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深めあらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物など読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第1節 例会。

- (a) 日および時間。本クラブは、細則に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
- (b) 会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
- (c) 会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
- (d) 取消。例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
 - (1) 祝日に当たる場合、またはその週に祝日が含まれる場合
 - (2) 会員の葬儀の場合
 - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または
 - (4) 地域社会での武力紛争がある場合理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
- (e) 衛星クラブの例会（該当する場合）細則により定められている場合、衛星クラブは、会員により定められた場所と日時において、毎週1回、定例の会合を開くものとする。例会の日、時間、場所は、本条第1節(c)と同様の方法で変更できる。衛星クラブの各会合は、本条第1節(d)の理由によって取りやめることができる。投票手続は細則の規定通りである。
- (f) 例外。細則には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。

第2節 一年次総会。

- (a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。
- (b) 衛星クラブは、衛星クラブのための役員を選挙するため、12月31日の前に年次総会を開催するものとする。

第3節 理事会の会合。理事会のすべての会合後60日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第1節—全般的資格条件。本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および / または地域社会で良い評判を受けており、地域社会および / または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

第2節—種類。本クラブの会員の種類は正会員および名誉会員の2種類とする。本条第7節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員として RI に報告させる。

第3節—正会員。RI 定款第5条第2節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節—衛星クラブの会員。本クラブの衛星クラブの会員は本クラブの会員でもあり、これは衛星クラブがロータリークラブとして RI から加盟を認められるまで続く。

第5節—二重会員の禁止。いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、本クラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第6節—名誉会員。本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を保持しない、および
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。

第7節—例外。細則には、第8条第2節および第4節～6節に従わない規定を含めることができる。

第9条 クラブの会員構成

第1節—一般規定。各会員は、その事業、専門職務、職業または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間で認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職専門職務、

または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節 多様なクラブ会員基盤。本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

第10条 出席

第1節 一般規定。各会員は本クラブの例会、あるいは衛星クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加すべきである。

会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

- (a) その例会時間の少なくとも60パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する
- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから1週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する、または
- (d) 次のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする：
 - (1) 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも60パーセントに出席すること。
 - (2) 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的をもって定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが、定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
 - (3) 理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
 - (4) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
 - (5) クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
 - (6) ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。または
 - (7) RI 国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI 理事会または

RI 会長の承認を得て招集された会合、合同ゾーン大会、R I 委員会会合、地区大会、地区研修・協議会、RI 理事会の指示の下に開催された地区会合、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会に出席すること。

第2節一遠方での勤務中の長期の欠席。会員が長期にわたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

第3節一その他のロータリー活動による欠席。欠席のメイクアップが必要とされないのは、会合の時に、会員が

- (a) 第(1)(d)(7)節に挙げた会合の一つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員または RI 委員会の委員、TRF 管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (d) RI に雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メイクアップすることができないような僻遠の地で、地区、R I、または TRF の提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。
- (f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

第4節一R I 役員の欠席。会員が現役の RI 役員または現役の RI 役員の配偶者 / パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節一出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長 12 ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由、子供の誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の 12 ヶ月を超えて延長することができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

第6節一出席の記録。本条第5条(a)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第4節または第5節(b)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるも

の とする。

第 7 節一例外。細則は、第 10 条に従わない規定を含めることができる。

第 11 条 理事および役員および委員会

第 1 節一管理主体。本クラブの管理主体は、細則に規定される理事会である。

第 2 節一権限。理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持ち、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

第 3 節一理事会による最終決定。クラブのあらゆる事項に関して、理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、理事会が会員身分の終結の決定をした場合、会員は第 13 条第 6 節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会の決定を覆すための提訴は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の 3 分の 2 の投票を必要とする。そして、当該例会の少なくとも 5 日前に、幹事が当該提訴の予告を各会員に対して与えていなければならない。提訴に対するクラブの決定が最終決定である。

第 4 節一役員。クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1 名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督もクラブ役員であるが、細則が定める場合、理事会メンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

第 5 節一役員選挙。

- (a) 会長を除く役員の任期。各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の 7 月 1 日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- (b) 会長の任期。会長ノミニーは、細則の定めるところに従って、会長として就任する日の直前 18 ヶ月以上 2 年以内に選挙されるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の 7 月 1 日に、会長エレクトになる。会長は 7 月 1 日に就任し、1 年間、その職務に当たる。後任者が選挙されない場合、現会長の任期は最長 1 年間延長される。
- (c) 会長の資格条件。クラブ会長の候補者は、ガバナーが 1 年未満であってもこの要件を満たしていると判断しない限り、指名に先立つ少なくとも 1 年間、本クラブの会員でなければならない。会長エレクトは、ガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会に出席するものとする。免除された場合は、会長エレクトがクラブから代理の者を派遣するものとする。会長エレクトが、

ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会に出席しない場合、あるいは、免除されてもクラブの代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任しないものとする。その場合、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなした研修に出席した後任者が選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

第6節 一本クラブの衛星クラブの組織運営。

- (a) 衛星クラブの監督。本クラブは、理事会が適切とみなす一般的な監督と支援を、衛星クラブに提供するものとする。
- (b) 衛星クラブの理事会。日々の運営のため、衛星クラブの理事会を毎年選出するものとする。この理事会は会員から選ばれ、細則の定めるところに従って、衛星クラブの役員および4～6名のその他の会員により構成される。衛星クラブの最高役員は議長 (chair) であり、その他の役員は、直前議長、議長エレクト、幹事、会計とする。衛星クラブ理事会は、本クラブの指導の下、ロータリーの規定、要件、方針、目標、目的に従って、衛星クラブの日々の運営とクラブ活動の管理を担うものとする。本クラブ内または本クラブに対して、いかなる権限も持たない。
- (c) 衛星クラブの報告手続。衛星クラブは、毎年、クラブ会員と、クラブの活動およびプログラムに関する報告書を、本クラブの会長と理事会に提出するものとする。この報告書には、財務諸表と監査または審査済みの会計報告を添付するものとし、これらは、本クラブの年次総会に向けた報告書に含まれる。また、本クラブからの要請に応じて、その他の報告書を随時提出する。

第7節 一委員会。本クラブは次の委員会を有すべきである。

- (a) クラブ管理運営
- (b) 会員増強
- (c) 公共イメージ
- (d) ロータリー財団、および
- (e) 奉仕プロジェクト

理事会または会長は、必要に応じて追加の委員会を任命できる。

第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

第 13 条 会員身分の存続

第 1 節一期間。会員身分は、以下に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

第 2 節一自動的終結。

(a) 例外。会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。ただし、会員が本クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外に移転するが、引き続きクラブ会員のすべての条件を満たしている場合、理事会は

(1) 会員が本クラブに留まることを許可する。または、

(2) 新しい地域社会にあるロータリークラブを訪問して知り合いになってもらうために、1 年以内の期間に限って、出席義務規定の特別免除を与えることができる。

(b) 再入会。暇疵なき会員の会員身分が本節 (a) 項の規定によって終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申込をすることができる。

(c) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員身分を取り消すことができる。

第 3 節一終結一会費不払。

(a) 手続。期日後 30 日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後 10 日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。

(b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

第 4 節一終結一欠席。

(a) 出席率。会員は、

(1) メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも 50 パーセントに達しているか、年度の半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも 12 時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および

(2) 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも 30 パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない。(RI 理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする) 規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会

員身分を終結されることがある。

- (b) 連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第 10 条第 4 節もしくは第 5 節に従う場合を除き、連続 4 回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えることができる。理事会が会員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。
- (c) 例外。細則は、第 13 条第 4 節に従わない規定を含めることができる。

第 5 節—終結—その他の理由。

- (a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員も、クラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の 3 分の 2 以上の賛成投票によって、その会員身分を終結することができる。本会合の指針となる原則は、第 8 条の第 1 節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。
- (b) 通知。理事会が、本節 (a) 項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも 10 日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

第 6 節—会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

- (a) 通知。幹事は、理事会決定後 7 日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後 14 日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もしくは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続は第 17 条に規定されている。
- (c) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから 21 日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも 5 日間の予告が、書面をもって、全会員宛に与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべて拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することは出来ない。

第 7 節—理事会による最終決定。もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第 8 節—退会。会員の本クラブからの退会の申出は会長または幹事宛に書面をもって行い、

理事会が受理するものとする。ただし、当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第 9 節一資産関与権の喪失。いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資金またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第 10 節一一時保留。本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、

- (a) 会員が、本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞い、またはクラブに害をもたらすような振舞いをしたという信憑性のある告発がある場合、および
- (b) これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および、
- (c) 当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきでなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初に取りられるべきである場合、および、
- (d) 当該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やその他のクラブの活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外することがクラブの最善の利益となる場合、

理事会は、その 3 分の 2 以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間（ただし最大 90 日間）と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留とすることができる。一時保留とされた会員は、本条第 6 節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

第 14 条 地域社会、国家、および国際問題

第 1 節一適切な主題。地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第 2 節一支持の禁止。本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第 3 節一政治的主題の禁止。

- (a) 決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。
- (b) 嘆願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願しないものとする。また書状、演説、提案を配布しないものとする。

第4節—ロータリーの発祥を記念して。ロータリーの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリーの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

第15条 ロータリーの雑誌

第1節—購読義務。本クラブがRI理事会によって免除されていない限り、各会員は、機関雑誌を購読するものとする。同じ住所に住む二名のロータリアンは、機関雑誌を合同で購読することができる。購読は本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が決定した人頭分担金の支払日に支払われるものとする。

第2節—購読料。購読料は、クラブが各会員から事前に徴収し、RIまたはRI理事会が決定した通り、購読する地域雑誌の事務所に送金するものとする。

第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、クラブ定款・細則を遵守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

第17条 仲裁および調停

第1節—意見の相反。現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間の意見の食い違いは、理事会の決定を除き、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停または仲裁によって解決を図るものとする。

第2節—調停または仲裁の期限。要請を受理してから21日以内に、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の日取りを決定するものとする。

第3節—調停。調停の手続きは、

- (a) 国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたもの、または
- (b) 代替の争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたもの、または
- (c) RI 理事会もしくは TRF 管理委員会が定めた指針文書において勧められるものとする。
ロータリアンのみが調停人となることができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有する調停人を任命するようガバナーもしくはガバナーの代理人に依頼することができる。
- (a) 調停の結果。調停後に論争当事者が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者、調停人、および理事会に記録を 1 部ずつ提出するものとする。クラブへの情報提供のために、当事者が承諾できる要約文を作成するものとする。論争当事者の一者が調停内容を十分に履行しなかった場合、いずれの論争当事者も会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
- (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第 1 節に定める仲裁に訴えることができる。

第 4 節—仲裁。仲裁が要求された場合、両論争当事者はそれぞれ 1 名のロータリアンを

仲裁人として指定し、両仲裁人は 1 名のロータリアンを裁定人として指定するものとする。

第 5 節—仲裁人または裁定人の決定。仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達し得なかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

第 18 条 細則

本クラブは、RI 定款・細則、RI によって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続規則、および本定款と合致する細則を採用するものとし、細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い、改正することができる。

第 19 条 改正

第 1 節—改正の方法。本条第 2 節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会における投票者の過半数の賛成票によってのみ改正できる。

第 2 節—第 2 条と第 4 条の改正。第 2 条(名称)および第 4 条(クラブの所在地域)は、定足数を満たした数の会員が出席したクラブの例会においていつでも、全投票会員の最低 3 分の 2 の賛成投票によって、改正することができる。改正案の通告は、その例会の少なくとも 21 日前に、各会員およびガバナーに郵送されるものとする。改正は、RI 理事会に提出するものとし、承認された時に初めてその改正は効力を発する。ガバナーは、提出さ

れた改正案に関して RI 理事会に意見を提出することができる。

附

○ロータリークラブ定款第 8 条第 3 節—正会員。RI 定款第 5 条第 2 節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

○ RI 定款第 5 条会員

第 1 節—構成。RI の会員は、クラブおよびローターアクトクラブをもって構成される。

第 2 節—クラブの構成。

(a) クラブは、以下のような成人によって構成される。

1. 善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示す
2. 事業、専門職務、職業および／または地域社会でよい評判を受けている
3. 地域社会および／または世界において奉仕する意欲がある

(b) 各クラブは、一事業、一専門職務、一職業、一種類の社会奉仕、またはその他の職業分類に偏らないバランスの取れた会員構成を有するものとする。

(c) RI 細則は、ロータリークラブの会員種類を正会員および名誉会員に関する規定と、その各々に対する資格条件を定めるものとする。

(d) 「クラブ」という語が不穏当な意味を持つ国々のクラブまたはローターアクトクラブは、RI 理事会の承認を得れば、名称にクラブという語を使う義務はない。



細 則

2025・7 月



国 際ロータリー第2720地区
熊 本 東 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

目 次

第1条	定 義	1
第2条	理事会	1
第3条	選挙と任期	1
第4条	役員、理事の任務	2
第5条	会 合	2
第6条	入会金と会費	2
第7条	採決の方法	3
第8条	委員会	3
第9条	財 務	3
第10条	会員選挙の方法	3
第11条	改 正	4

熊本東南ロータリークラブ細則

第1条 定 義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 理事：本クラブの理事会メンバー
3. 会員：名誉会員以外の本クラブ会員
4. 定足数：投票時に出席していなければならない会員の最低人数。クラブの決定の場合は本クラブ会員総数の3分の1、クラブ理事会の決定の場合は理事の過半数。
5. RI：国際ロータリー
6. 年度：7月1日に始まる12ヵ月間

第2条 理事会

本クラブの管理主体は、本クラブの会員14名から成る理事会とする。すなわち、会長、直前会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）、副会長、幹事、会計、および会場監督である。理事会の裁量により、本細則第3条第1節に基づいて選挙された7名以上の理事を加えることができる。

第3条 選挙と任期

- 第1節 選挙の1ヵ月前に、会員は会長（次々年度）、副会長、幹事、会計、会場監督および7名の理事候補者を指名することができる。指名委員会または会員のいずれか一方または双方が候補者を指名することができる。
- 第2節 指名委員会は、会長、会長エレクト、直前会長、副会長、幹事、前幹事を構成委員とし、選挙の1か月前の以前に任命する。
- 第3節 各役職において、過半数の票を獲得した候補者が当選したものと宣言される。
- 第4節 役員または理事会メンバーが辞任した場合、残りの理事会メンバーによって後任者が任命される。
- 第5節 役員エレクトまたは理事エレクトが辞任した場合、残りの次期理事会メンバーによって後任者が任命される。
- 第6節 各役職の任期は以下の通りである。

会 長：	1 年
副会長：	1 年
会 計：	2 年
幹 事：	1 年
会場監督：	1 年
理 事：	1 年

第 4 条 役員、理事の任務

第 1 節 会長は、クラブの会合および理事会の会合において議長を務める。

第 2 節 直前会長は、クラブ理事を務める。

第 3 節 会長エレクトは、会長就任に向けて準備し、理事を務める。

第 4 節 副会長は、会長不在の場合、クラブの会合と理事会の会合において議長を務める。

第 5 節 理事は、クラブの会合と理事会の会合に出席する。

第 6 節 幹事は、クラブの会員と出席について記録をつける。

第 7 節 会計は、すべての資金を監督し、年次財務報告を行う。

第 8 節 会場監督は、クラブの会合の秩序を維持する。

第 5 条 会合

第 1 節 本クラブの例会は、毎週 1 回、水曜日 12 時 30 分に開催する。

例会に関するあらゆる変更または例会の取消は、クラブ会員全員にしかるべく通知される。

第 2 節 次のような方法で、欠席例会の前後 14 日間。例会の定例の時の前 14 日または後 14 日以内に、ロータリークラブ定款第 10 条出席 (d) に列挙の会合に出席してメイクアップする。

第 3 節 本クラブの年次総会を毎年 11 月第 3 例会に開催し、そこで次年度の役員、理事の選挙および現年度の収入と支出を含む中間報告、前年度の財務報告を発表する。

第 4 節 理事会の会合は毎月第 1 例会後に開催される。理事会の臨時会合は、会長または理事 2 名の要請により招集され、開催に当たっては然るべき通知を行う。

第 6 条 入会金と会費

すべての会員は、細則の定める入会金および年会費を納入しなければならない。

入会金は、30,000 円とする。

ただし、本クラブ会員として受け入れられた移籍会員、他クラブに属していた元会員、あるい

は本クラブに再入会する本クラブ元会員は、2 度目の入会金の納入を義務付けられないものとする。
本クラブの年会費は 230,000 円とする。

クラブ年会費には、RI 人頭分担金、ロータリー地域雑誌の購読料、地区賦課金、クラブ会費、ロータリーまたは地区によるその他の賦課金で構成される。

第 7 条 採決の方法

本クラブの議事は、口頭または挙手により採決を行う。ただし、役員と理事の選挙はその例外となり、投票により行われる。理事会は、特定の決議を、投票で採決するよう決定することができる。

第 8 条 委員会

第 1 節 クラブの各委員会は、クラブの年次目標と長期目標を達成するために、活動を調整する。

第 2 節 会長は、すべての委員会の職権上の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典を持つものとする。

第 3 節 それぞれの委員長はその委員会の定例会合と活動に対して責任を持ち、委員会の仕事を監督、調整し、委員会の全活動について理事会に報告する。

第 9 条 財務

第 1 節 各会計年度の開始に先立ち、理事会は年次収支予算を作成する。

第 2 節 会計は、理事会によって指定された一つまたは複数の金融機関にクラブ資金を預金する。クラブ資金は、クラブ運営用と奉仕プロジェクト用の 2 つの口座に分けて預金する。

第 3 節 勘定書は、会計もしくは権限を持つ役員によって支払われ、他の 2 名の役員または理事により承認される。

第 4 節 有資格者が、すべて財務処理について徹底した年次検査を行う。

第 5 節 クラブの年次財務報告がクラブ会員に配布される。

第 6 節 会計年度は、7 月 1 日より 6 月 30 日までである。

第 10 条 会員選挙の方法

第 1 節 会員が、入会候補者を理事会に推薦する。または、ほかのクラブが、そのクラブから移転する会員もしくはそのクラブの元会員を推薦する。

第 2 節 理事会は、30 日以内にこの候補者の入会を承認または拒否し、その候補者を推薦した会員にその決定を通知する。

第 3 節 理事会が入会を承認した場合、その候補者は、クラブに入会するよう招かれる。

第 4 節 クラブが入会見込者の通知を受けてから 7 日以内に、理由を付記した書面による異議が、どの会員からも理事会に提出されなかった場合、この入会見込者は、入会金を納めた上、会員に選ばれたものとみなされる。理事会に対し異議が提出された場合、クラブは、次回の会合において、この件について票決を行うものとする。異議があったにもかかわらず、入会が承認された場合、入会見込者は、入会金を納めた後、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第 11 条 改正

本細則は、いかなるクラブ例会においても改正できる。クラブ細則の変更には、当該例会の 10 日前に各会員に書面による通知を行うこと、投票の定足数を満たす会員が出席していること、全票の 3 分の 2 が変更を指示することが義務づけられる。ただし、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも 10 日前に各会員に郵送されていなければならない。当ロータリークラブ定款および RI の定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。



慶弔規定

2025



国 際ロータリー第2720地区
熊 本 東 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

熊本東南ロータリークラブ慶弔規定

(目的)

第1条 この規定は、熊本東南ロータリークラブの会員およびその家族に対する慶事ならびに見舞について定める。

(慶弔ならびに見舞の種類)

第2条 慶弔ならびに見舞の種類は、次のとおりとする。

- (1) 結婚祝
- (2) 受賞等慶事
- (3) 傷病見舞
- (4) 被災見舞
- (5) 香典および花環

(結婚祝)

第3条 会員が結婚した場合は、クラブから、10,000 円または同等額の記念品のお祝いをする。

(受賞等慶事)

第4条 会員が叙勲、褒賞、学位称号を受けるなど慶事があった場合は、クラブから、30,000 円または同等額の記念品のお祝いをする。

(傷病見舞)

第5条 会員が入院 10 日以上 of 傷病にかかった場合は、クラブから、10,000 円のお見舞をする。
但し、同一病名 1 回限りとする。

(被災見舞)

第6条 会員の住居または職場が火災、風水害その他の不慮の災害により著しく被害を受けた場合は、クラブから、お見舞をする。

2. お見舞の額は、被害の程度により理事会において決定する。

(香典および花環)

第7条 会員もしくはその家族が死亡した場合は、クラブから、弔電をおくり、次により香典および花環をそなえるものとする。

- | | |
|----------------|------------------|
| (1) 会員の場合 | 香典 50,000 円および花環 |
| (2) 夫人の場合 | 香典 10,000 円および花環 |
| (3) 父母または子女の場合 | 香典 10,000 円および花環 |

2. 前項第 1 号および第 2 号の場合は、直近の例会日において黙祷を捧げて弔意をあらわすものとする。

(付則)

1. 記念品等の種類については、クラブ会長が決定する。
2. 各条項の慶弔および見舞については、クラブ会長に幹事および親睦委員長が同行して行うことを原則とする。
3. 他クラブ会員で当クラブと密接な縁故者またはその家族に対する慶弔ならびに見舞について、この規定に準ずることが適当と認められるときは、クラブ会長が理事会にはかり、そのつどこれを定める。
4. 昭和 59 年 7 月 11 日よりこれを施行する。
5. 昭和 59 年 12 月 26 日一部改正
6. 平成 4 年 7 月 1 日一部改正
7. 平成 4 年 9 月 2 日一部改正
8. 平成 4 年 12 月 2 日一部改正
9. 平成 5 年 5 月 12 日一部改正
10. 令和 4 年 7 月 6 日一部改正

